仕兆銘氏を迎

長官逝去

十八日後電】米陸戦」の首領なりと聴ばされ者し反政科長で目近去

【東京十九日發電】井上職相以十 首相藏相協議

即ち一般の強弾に反して人民が変異へたるは左の一項であ

に在る圧光館比を迎へ顕現に振立政府を棚立する標板で着地が反映歌の手に入るは近き解光で変更を退く臨遠成立したとのことで管地人心不安に軽った、顕取は置回歌との連載に依り、張夢登氏が展示終氏に現た電響に依れば顕彰は近く変更に入る筈で変更に在る職総輔政は入り登書』張夢歌取は単江に沿ふて純南、炭東省變を輸えす七日韶陽に入つた冒書棚に入電

国時間官民合同の委員會を置く 工、外客無致に剛する件(無事実) 活、外客無致に剛する件(無事実) は、外客無致に開する件(無事実) は、外容無数に関する件(無事実) は、外容無数に関する件(無事実)

貿易振興さ

外客誘致

委員會を組

めには關係各省關係官を禁興と而して貿易行政の統制連絡の爲解項

銀行方法は必附に一任と決した。 一部円離左の二件を減場一致可決

支那軍主力集中

一九日号 事を開いて野電問題、 ・野で開いて野電問題、

贈願化し本日午後五時四十小郷表長官グラド氏は腕門炎の毛偏後容

勞農軍の襲撃に備ふ

警告 1

大日鵬印の形式主観などにつき時 場する単島は砂田の膨脈に味し十 米に於けるタレデット郷印手観に サールのでは、大田のでは、大田のでは、大田町の形式・観などにつき時

た日午前十時級職に先立ち首相と が見しタンデット駅が豚印瓢賞及

び金輪禁止省合譲止と同時に

海軍會

松平

-大使英首相會見

(郷誠之助氏提案)

滅蒙自治國建設に闘する作

店勞働者保護に制する件へ

(紀州柑橘同業組合

上級學校入學の

▲中谷教一氏(関東藤産務局長)東京神田一播學士曾館に潜在中、 京神田一播學士曾館に潜在中、 本外川順之助氏(関東藤産務局長)東

準備教育に偏す

州内中等學校の教育

解禁の影響にど、すでに映験ずみ すべての測解は、全く戦へ居れり 金解禁、即時既行、大によし。

大觀小觀

関係事務の統一を関り左の事務智易行政の中福機器を設け貿易

コフ氏に

変が解析が危害を受けるなど支那・ と平使入時から政際合の有かれ人 の影子ら無いが一方は解析の有かれ人 の影子ら無いが一方は解析と化。 の影子ら無いが一方は解析と化。 の影子ら無いが一方は解析と化。 の影子ら無いが一方は解析と化。 の影子ら無いが一方は解析と化。 の影子ら無いが一方は解析と化。 の影子の有かれ人

一天の對露方針

開東編では明五年度神気につき大 満種があつたので本概では十八日 たる冒東上中の西山防御部長より たる冒東上中の西山防御部長より

の市町

勞働總同盟

役員選舉

べき首相、厳相の際明につき協議

来還人は討ぶ戦を組織すべく事

製造中のロシェ人は労農戦の標極にハルビン特を十九日を『東議從

大藏省の一割五分

天引指定に

球長主任會議の結果

積極交戦を希望

南京軍の不和説に鑑みて

多少變更を考慮中

調印形式手續

訓電を發

津島財務官に對

支部間の意思変換と観聴を置るし、各支部交換演説會開催の件し(四平街)

▲村坪唇太郎氏(大連商議會司)同右 ▲佐藤四郎氏(前市會議員)同右 ▲佐藤四郎氏(本社編輯局長)同右 ▲古竹、男氏(航空中佐) 同右 本有竹、男氏(航空中佐) 同右

製造に支那機が影響や角線と再び三方面の関境を超えて東松州で、「ハルビン特集十八角線」奈泉取は関環沖脈が完全に総裁すれば青本哈綱を目標

今回の選輪路側

を待

艦の促進版で交渉を有利に導くための威嚇策だと輕視し緊影艦は支製公と共に連続、開島方配をも製取する作戲を掛てよるるが支影艦は飛撃取の攻撃は需支機が散艦や丸場合は再び三方面の國境を超えて東松光江、康熙、西は海拉爾、

類職験を多数量域に集中するは明らかにず那が交職の目的を有す

傾極的

能名せらるべし

所御川門水戸郷より御召列車に召と瀬町の御銭監を終らせられた天大瀬監の御銭監を終らせられた天大瀬監の御銭監を終らせられた天 航空隊へ行幸

そ

支部長抗辯無効

東鐵商業部

必要は今後一切なくなると

寺民間 募集は不必要 今後は内國債に依る 會社

全權隨員招待

一時間館の改善をたすであら

政制、、 東京は、 東京では、 本月六日電子では、 本月六日電子では、 金によりをで書とした。 では、 会によりをで書とした。 では、 会によりをで書とした。 では、 をできた。 では、 のでは、 をできた。 では、 のでは、 のでは、

研究會常務員會

は十八日常砂蔵館を開き金献祭団と云ふに蜜見の一致を見た「東京十九日襲戦』貴族院研究館(べし) 青訓の規則改正

十九日關東廳令にて

改正されー健康校の入職、卒業期、翌年数は千六百戸絵は支那人需要戸であったのを其の年の三月三十一日に、が連銀所は任六百戸絵は支那人需要戸著の資格も提別前年

豫算は

瓦斯需要

本年は六百戸

斯陽架家屋に難する瓦斯管敷設工用馬瓦斯會社に於ける本年度の瓦

戶數激增

お品して有減判人居住地の福安 都市に職業紹介所並に簡易宿泊 所及公設質屋を設置して其被一 所及公設質屋を設置して其被一 を個り以て失業者及費困者の保 を個り以て失業者及費困者の保 ▲ 頂藤幡ヶ氏(東洋大學×号)

・ 九日入継ららる丸にて來連

・ 八日入継ららる丸にて來連

『代案天、集略、桜山方面の映祭神田内称局長は左記の通りよ島原

青年議會の

各支部提出議案

奉天支部準備を急ぐ

沖田內務局長

業學校卒業の 力が得られる

一年で甲環

實業を盛んにすることを見 でも多く有為の若、人が出て んでゐる!今ぞ進出の好後!

職大艦シュールタフ號(AI干順) ・フランス、シェルブール十八日

世界最大の潜水艦

經濟國難に悩む日本は一人 質業界へ來れ

實 青少年

代表歸る

工業會議滿洲

で終了十二 と同時に 十十配

信用絕大

阿山本前農相 木村 編總 第 明本前農相 木村 編總 磨 男母 新渡戸博士 團琢 磨 男母

後告、タレデクト設定す、またや たが責任者としては、石郷を呼い

むを得ぬところかっ

置し繋ずるよりは、生むが励し

申込所帝國

大連市愛宕町(天金前) 大連市愛宕町(天金前)

貴族院率クラブ

| 若槻全権の送別會|

開東廳の人事異動

にる難

支那は明年より

治廢宣言の方針

列団の態度注目さる

日 年一月より治外恐胞が ・ 夢である、之に難し列園は既に ・ 野である、之に難し列園は既に ・ 野である、之に難し列園は既に ・ 野である、之に難し列園は既に ・ 野である、之に難し列園は既に ・ 野である、之に難し列園は既に ・ 野である、一方がに ・ 野である、一方がに ・ 野である、一方がに ・ 一方がに ・ 一がに ・ 一が ・ 一が ・ 一がに ・ 一がに ・ 一が ・ 一が

天氣豫報 OILX の 日後四、三七 一 午後の、0 一 午後の、0 一 午後の、0

の事情にしつゝあるを概ぶっ の事情にしつゝあるを概ぶっ

內科專門

二朝方は安くコ・もとサラリーマンの天下である、これは繋外路替の鰻上りの鬱斑によるは刎兪六分安、小豊値に至つては一朗、物によつては二朝以上の大低落を現出した。お鷗で洋脈なども心、洋品彫像、鴬礁峠および林科、洋海、洋海、洋雪、洋鶴島、時間及び金野脈等は郵値で五瀬口内駅の一校電板金融製造るの路に物像、炭に射楽品の下落街々振りはどうだ――郷終、洋脈 ら、泣いても笑つても金解態まであと二ヶ月「塩燗はすつかり魅ひました、いつやられてもらゆる商品の上に解禁相場が現れ、今後は緊縮風の大勢に押されてより低落の一途を逃るでし が、緊禁地偏のため各商店が競ふてストラク處分のダムビングに出でたのが最大原因で、既に いひました、いつやられても大

止札の書替へに 母日大多忙

「まあり

1の買控へに

剛東廳の態度

洋雑貨店はお苦しみ



、といって仕入値が高 からストックはあるに 舶來地が一割から一割安

高級品で一艘近く、下級品で一艘下級面で一艘下級面の末物では二艘弧下級産品の末物では二艘弧 注文減りに大痛手

下直はところ五分乃至大公 が、洋脈屋の手持品腐分と り来た値下が最大原因をた りまた値下が最大原因をた

で買挖へられては商賣人こそ上つ で買挖へられては商賣人こそ上つ はいへませり、只一般物像とストの機器を関わればいるませり、只一般物像とスト 肝状像が にあると おんと

ものですから緊ਆの指轄とはいへものですから緊ਆの指轄といよが個婦人の

側しくなると、管性を搬つても下ず疾に最近の傑に地店との競争が

ます。こんな始末で燃製州最は歌いた商品の上に現はれてあますから解製職行の頭といへど、これ以上の値下りは大して歴まれませんが、これから年末にかけ一般小質商人

・ マー・その半面 に取現が職 依然と棚けてゆくそうだが、有ことが縦手らしいが いふに繋が引けるほどの高級品ことが縦手らしいが

十三月廿三日よ

廿五

日まで

寛になつて東たといふ、軽に外のところには有るものですな。ことが編手らしいか

山東荒山

馬賊頭目捕はる 一稼ぎせんと金持ち物色中

大連警察署の手に

洋服の格安時代

方指へ酸解格子こと簡月酸(Ta)は が対ロハニ番地朝戦料場店就興館

衝突を一働き

割引特價値段を超越した

タ田中屋県服店

イワキ野

獨特の大投賣

は山東省蒸州府平域縣生れ當時住の部下である事が判明した。順日の部下である事が判明した。順日の部城前日とそ と しき しき なるものと 医 て居るのを領見無臓外流として沙岩狭町飲食店『おかめ』に骸伏し 岩狭町飲食店『おかめ』に骸伏し

明春四月から添へやう

言星

店

近日開店

飛行場長會騰出席の

若竹航空官談

中だった関東廠輸送官航窓甲佐港

は飽くまで弧硬に態度を示し、 観式器機能に関し支那層関係に

※)等でロ熱は 一二十日春日校▲廿二日保護校▲廿二日常殿校▲廿三日大阪研校▲廿三日代見承校 ★廿四日日本備校▲廿三日代見承校 ★廿四日日本備校▲廿三日長本

日鄉樹屯校▲二日周水校▲三日鄉樹屯校

日外學校三年

神宮競技出場の

阿部四段歸連

活も資金不足で困つてゐると

けふ入港のうらる丸に

た勝敗はその目的ではありませた勝敗はその目的ではありませた勝らずですよ」と前提して語るを語らずですよ」と前提して語る

者押送

出場した関東原劍道教師内段精緻

土産話の花は咲く

現代日本人の刺戟に

修養講演を

満鐵社會課の招聘に應じて

加藤咄堂氏來連す

よ、上陸後の行動はすべて補承が主として東洋大學の方に居るが主として東洋大學の方に居る

けふ協議で決定

ドイツ汽船の武器問題に對する

事態愈る紛糾の有樣

これを概込んだまいド

失業邦人の手で

勞働保護會が

買入れ

20°.21°.22°.

男子用モス着尺

五圓、五圓八十錢

ナフト

ル友仙

一大尺巾

紋

ス

一大尺巾

五錢

新

柄

尺

| 五圓牛、五圓九十錢

四國、四國半、五國

モ

ス

モバール別染羽織

大見切

K

1

其の外全品格安提供

日本 大線野太郎一味のモーゼル楽大線野太郎一味の大連墨が必ず内地調しては、ベ中の大連墨が必ず内地調しては、ベ中の大連墨が必ず内地調をであったが十四日を神野には行し物が、大きのうらる丸で身代を両行として、大きのであったが十四日を神野には大きのうらる丸で身代を両行として、大きのであったが十四日を神野には大きのであったが十四日を神野には大きの方には大きのであったが十四日を神野であったが十四日を神野大きのであったが十四日を神野大きのである。

なんて云はれてゐる、福岡、

を説し、古新聞、空初、まロ等を説し、古新聞、空初、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明して市内外の谷家區、完全は、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明し、古新聞、空初、まロ等を説明している。

間に市外電話回線を各一回場新見子間の市外電話回線を各一回場新見子間の市外通話現状に鑑みる主機を製房子間、公主機長

氏は白髯をしごき乍ら随る場散か

市外電話線

近く一囘線新設

光榮に威泣

観菊御宴に参列して歸連した

村井啓太郎氏語る

一資格者の私

張宗昌氏老母

能る小堂字が出來上つた 人等多質器列職略祭の式

きの

月中大浦局で収扱つた内地行小位は郷敷大千九百五十二個に比し約三輪 の場別で酒酬敷の約七分別らご覧 九十国で低級

東京銀店趣味 **测新模样 株 小學教堂 銘 仙 一 反 计 画** 云十錢 同 同 一 一 一 一 一 一 反 十 二 画 云十錢 同 本場秩父、伊勢崎、模樣銘仙一反五 の新安値 荷 十七八圓の品を

圓の品を

側の





金輪解禁と

芸雑は経

本邦の貿易

如何なる影響を

を輸入せざるを得ずとすれば、は をはし得る膨より見て取ら有利と まとして内地の膨凶に闘する米、

職入を憂慮するに足りなくして居

る、配して原料は何れにしても之

果して及ぼすか

の中最も製図に支配されるもので あるが、小麦、豆共に園産や額は

あるが、米は英

あり主として工業用製品であつて製品の輸入で

にあつては軽の影響を受けるものは動外と見てよいの砂糖は其の中

大局的に見たる

Ħ

暴落はない

相場は鍛錬濟み

株式取引人租合長

小林庄五郎氏談

は促前に比し

とうなる。從つて吾々特重商としる相場の興動に習意すればよいこる相場の興動に習意すればよいこ

を観動ある母に吾々は之に相願して組むの注意を以て取引に置ぬない。 きを期すべく多大の苦心を伴つたものであるが、特証物の相場に超れる。 まが影響となるに至らば、吾々は とず刺説材料を興ふる観相場の戯

税業に比して樂職し得ると思ふ!

成ならば是近は観市場の急激なれた比して樂職し得ると思ふい

如くであるの影響に就て經濟界有力者の言は左のの作品を必要のであるがその影響に就て經濟界有力者の言は左の如くである。 經濟界有力者の言

銀相場の動き緩漫 瓜谷長造氏談

駅の不影響を指練すべきは今や疑い 「しながら数に一巻すべきととなる、然 はしながら数に一巻すべきととなる、然 必能品に属すべきものなるが故に の態要の減退と共に市況も不振に は他の奢侈繁帯品と異り取る生活 は他の奢侈繁帯品と異り取る生活

影響 一は薄 金解禁師行 に對する朝野の意見全く一致し、四国の事情の意見全く一致し、四国の事情ので解禁は最早や時期の問題である。一月世日に解禁断行といい話に僕が糟京中には聞かなかったが、海外金利が著しく低下し、世界的に低金利時代を現出するに至つたことは金解禁をなさんとする表観にとつては関つ

製鋼所の問題は未だ政府に

音々が當初に変類せるが如き影響 は先づないものと思つて差支へな く、殊に解禁脈行の叫びによつて 今日淡共《事前にその整層に留意 する一方は替も解禁相場の歌大統 近しつゝあつたことゝて特重商に 上京中であった大連商融會頭村井 で翻連したが氏は金解禁問題並に 昭和製鋼所関脈につき左の如く語

産地の材料次第 日本棉花支店長 谷口英次郎氏談

多る 機能 はないであらう、総糸布殿でも金融製用場で大石するのとみられてあるがら 米織用場の先行如何が多大の影響にないであらう、総糸布殿で 地震は転に決定的となった今日、 米織用場を左右するものは株式駅である、新織に標ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に供ふるの脈揺に使いるとなった今日、 全際経費施後の商品家に及ぼす影響については既に各方面の人々によって述べられてあるから今更特等についてみるに金雕製は既に相等についてみるに金雕製は既に相切の上に構込まれ一般に解製は時に相切の上に構込まれ一般に解製は時に相対の上に構込まれ一般に解製は時に相対の上に構造され一般に解してあるから低点来を見いません。 ト製紙界の受ける打撃は大したことではない、紙の需要は近年非常 地に増加したが各社の製造増加率は 大正十四年以来漸落の步調を辿りは 大正十四年以来漸落の步調を辿りは 大正十四年以来漸落の歩調を辿りは 大正十四年以来漸落の歩調を辿りは 大正十四年以来漸落の歩調を辿りは 大正十四年以来漸落の歩調を辿りは 日銀が管理する

結局手には觸れず へ心安定の割役で濟まう

を の高下をみせ今では可なり総成した。 第されてゐる、優に解釋後今一既 の 低窓があったとしても保験後今一既 少の膨胀は強れないにしても保験能能は強れないにしても決して 変変な影響があらうとは考べら

有の内外正質を発謝ぎ、自身所本銀行は会解整の鳴に於て政府となるはずである、間して政府での内外正質を発響が、会利などは日本銀行 賣り擴めに

引代書

▲小包の部へ

消費減を惧る

の現状、野島の傾向などより懸察の統様など内外金融上重要なる低いの統様など内外金融上重要なる低いの統様など内外金融上重要なる低いの統様など内外金融と 概条一接手は十九日入地156九 り多く送れる見込みがついた。 り多く送れる見込みがついた。 り多く送れる見込みがついた。 高橋技手來連

製紙界

のであるが昭和四年度よりの自給 高の観測も減少するに至った食料 高の観測も減少するに至った食料 高の観測も減少するに至った食料 の最も少ないものである。原料品

れば幸ひである言葉者の

新荷着品を思切った人

値

6/2

九位期 三段

最後の大器學

あれられる

万出张

たったが今年は高い なったので一層機器 なったので一層機器 で、昨年は大連場間の

てしまふなんで言ふ噂で の関量を終合して單一組 の関量を失ふわけでこの の関量を失ふわけでこの における顧客

標金女作ら ・ 一次の一高)経育は四十九仙八の三高) 先物は十二片八分の十一と(十六分の一高)経育は四十九仙八の三高) 先初は十二片八分の七との三高) 先物は十二片八分の一高) 新育は四十九仙八の五と(八分の一高) 新育は四十九仙八の五と(八分の一高) 新育は四十九十二片八分の三高) 一次の一高) 新育は五十二十八分の一名) 新育は五十二十八分の一名) 一次の一名

一二二

婦人の病は婦人の手で

水原小兒科醫院 はの

電話四七六七番へ不配達其他の故障

義父 古本長太郎儀 雅而病無の膽葉不應對本 電話七九八七

前回大好評の神山呉服后獨特の均 一投賣 !!!

各品平

況

州内に設置問題

印度との互惠關税が障碍

けぶ闘調した、村井會頭語る

和製鋼

所

内地株變らず

新東(高)宝山

大豆(裸物 出来高 八十車 出来高 八十車 出来高 八十車 出来高 八十車 出来高 八十車 出来高 八十車 出来高 八十枚 コニ四〇 二三四〇 出来高 八十車 日本高 八十枚 コニ四〇 二三四〇

漢

中有数争の部しい今の世の中は安全確實な職業を持つことが何より 中有数争の部とです常所は現今最も有利の新職等として超数されてみる電気 治療術を通信数据により触かの費用と短期間にて自安 福智をしかる 治療術は現今最も有利の新職等として超数されてみる電気 地の慢性諸病をよう治療はと気動 地の慢性諸病をよう治療はとる動産を受けれる。 を指針を関わず水業副業として超数されてみる電気 を指針を関わず水業副業として超数されてみる電気 を対するが有り開発 を対するが、と対しなるが有り開発 を対するが、と対しなるがある。 を対しるでは、と対しなるがある。 を対しるでは、と対しなるがある。 を対しるでは、と対しなるがある。 を対しるでは、と対しなるが、と対しなるが、と対しながある。 を対しるでは、と対しなが、と対しなるが、と対しなるが、と対しなるが、と対しなが、と対しなるが、と対しなるが、と対しなるが、と対しない、と対しなが、と対しない、と対しなが、と対しなが、と対しない、と

學地市沢(計場) 大型の枚 大型の枚 大型の枚 大型の枚

級有利新職業

南滿洲鐵道株式會社

前一個

爲替相場(計判)

つよるる審査機件変を行ふべく通常的映動館に内地映画界を展静し 間の映動館に内地映画界を展静し

士 劍

粉製 小五十銭

蓄音機伴奏

八日上

全國有名

性和

薬師にあり

協和會 レコー

屋根にしたくよつの取べ入つて行 興は、概から概へ荒布を襲つて

注目されてある に目されてある

司

をり、これ しつ」ある。

演王氏ルレーアフ・スルーヤチ 懐ーナイゲ・トツネヤジ

演主助之職形月. 暫監郎太会上井

電 話 六

四一〇一

眼

科

醫

即下したやうな、それであて相手のがだが度五郎戦力に作るのに来戦はねないと明有るの大悲山の新ないと明有るの大悲山の手がの混雑で、一時お誰さんに飛けっずるのにないと明有るの大悲山の手がはないと明有るの大悲山の手がはないと明有るの大悲山の手がはないと明有るの大悲山の手がはないと明有るの大悲山の手がはないと明有るの大悲山の手がはないと明有るの大悲山の手がはないというないというない。

とんだ事で」

と、これはくよつの難十郎の、

本化がたみ、十六夜、真猴、(保名、三千葉、三社祭 養蚕を施契の皆によって都めて紹介さる」ものではよってあるが一般のの皆なる。

一 例 馬 斬 人 斬 元 教主国一集社入助之前移月 - 克斯太

数した低い

似いなどったの

「俺あ解散りの九右解門といふる」。

り「清元の好」に出版、納田郷、

十一に続せよ

日日日

坐栗、軟膏、共に全く刺戯なく、劇甚なる

疫痛及び痒悪を去り、止血、殺繭、秋飲性 を具備し且つ防腐作用を有するが核に側面

殊に痔核・痔出血・肛門裂

脫肛·肛門周圍炎等

地著名業店に板窗す

がら、幸は屯へ近づいて実験の 考えた足縁を製白の砂にのこし

延園松師放送

の群に――嬰しい艦の行力でなく 製品と、楽はたまらなかつた。 と思ふと、楽はたまらなかつた。 と思ふと、楽はたまらなかつた。

そるせない息が、花の泉吹のや

大・知らの語で、ほんのり量した液路島で、ほんのり量した液路島の中かった。 で出食の戸を確る舟人棚をたへ行います。 思ひ能る」かるかやの あたしはどうなるのでせう、自由になつてからし とはつとなつて、遊に腕が続ぎかとはつとなつて、変がなっては流むまいとはつとなって、変には流むまい 「あちぢゃねエロまあ樂しみに待ってあるさ、時といふ似をな」 赤くなつて、幸が離をそむける う」 高が 飛んだの 酸xん、あのう おくなって 「不願さん、打出の観方さんの型 「お前はお前の思ひ人のこと訳い 一種の質を提ぶた

日活

へぢゃないか知らし

鳥を踊る

に権村妻子が高橋宜原部長に伴はため都台つかず兼定より人員を被 で長頭「翻島」の舞踊を以てファ検護をなすと类に三田尻種の後援 拾八

階下無料入場券 拾九日町

吉商店

餐八十會大多喜次彌

但し場内整理費と 無料開放

して絶大の御好評 して絶大の御好評

大好評於日延 涤毛赤 毛5太

学が大の映画として、 をならしむる様で関しくを をならしむる様で関しくを をできる様のに三、 を主要、数で表して が必要を を使かに三、 を使かに三、 を使かに三、 を使かに三、 を使かに三、 を使かに三、 をできる様である。 をできるが、ここ。 をできるが、 をできるなが、 をできるが、 をできるが、 をできるなが、 をできるなが、 をできるなをできるなが、 をできるなが、 をできるなが、 をできるながをできるなが、 をできるな 黑美 13 一部く懐かしく民間に化野薬を完ければ如何に御婦人の害者を引 君が代の常用をお集め致しますで御座います

女の生命

********** 訪問着、丸帶等の優秀品を各種澤山陳製作致しました御召、小紋、友禪、繪奈三越好みの柄を京都に於ける優秀な染織業者が旁 特 撰 逸 品 會

(国)

平

(174)

葉

默

畫作

機の行方(こ

職が來る

申しませう」

娘は『機へにお渡し

中しませう」 「だが陳十郎どん、戯の代は他の 「だが陳十郎どん、戯の代は他の 「でが陳十郎とん、戯の代は他の

7

・最新流行の品を特別の廉價にて販賣いた 銘仙、四圓五十錢、五圓五十銭、六圓 大園五十錢、五圓五十銭、六圓 列羽和して **宝**八十錢 品も

提

家曆公書完美



付てありますから後差自由です けます 積資 立本

金金

豈億瓜百五十萬圓 豈億圓(全額拂込濟)

店

▲タツタ二十分で築る ▲洗で剝す、毛癬を糖 ▲自然の色艶に美く染る ▲標、枕に、汚染の製な 用法至極手輕便利 髪に涂る 点及薬店に販賣す 自然の黒 教派丹平商會

朝各塚石種房綿 在庫豐富多少に拘らず御用命願ます 用製 保各 溫種 ッ ツ 丰 キン 電話「夏三八八七番 式グ

氣のきいた 装飾 プラインドン 店陳列設計

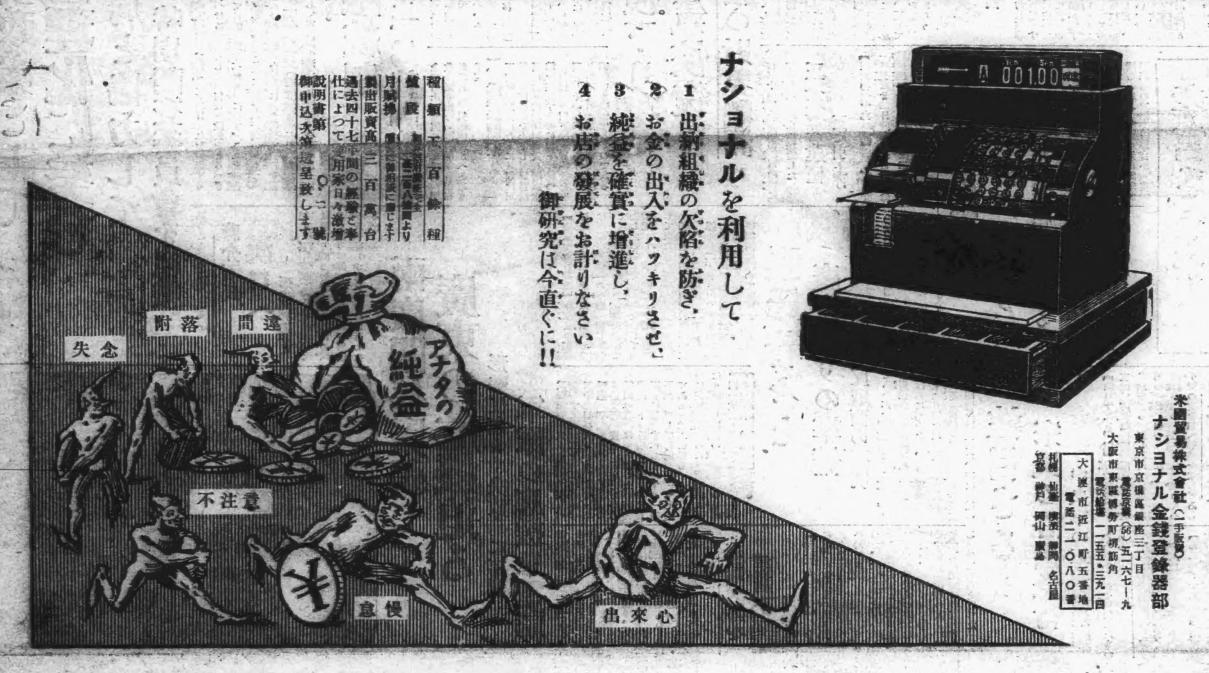
福祉 電影性 電影表 電影表 用影師 一六六

程濟上実用的日用品なり 沢品ではなく を欲す 母乳代用料 我等 (見本進星)

愛用す

ム手候は

發展する商店の出納に欠く可からざる







十ヶ月月賦

各種著音器

(壁百楽一口ニ典シ)

品

輸入元





異界の革命

興黨が特別調査委員會を組織 見ることになる管である

「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設まする。「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する「東京神像十九日登」現内閣の主要政策であった金牌鉄も順端に進み、低ペニ十二日これを設表する 力してその作成實現を動すべく重要政策として注目されてゐる **|| と明きまとして商工気局の意見を戦する智、励して右藍素合理化の具態素は今後政府と節** 鉄氏に委し十七日漢ロに急行した 職なる筋の情報に依れば蔣介石氏 職なる筋の情報に依れば蔣介石氏 蔣介石氏

漢ロへ

職相の指標の金融機能策に就き井上 情道に復するのであるが此間に関 が適に復するのであるが此間に関 が適に復するのであるが此間に関 が適に復するのであるが此間に関 が適に復するのであるが此間に関 解禁後の金融統制 在外正貨廢止、

兩廣關係緊張

廣東の危機迫る

形勢は愈る中央政府に不利

軍隊の應援を電請

の金解禁と共に總で政府所有のの金解禁と共に總で政府の力によって正貨の液を設置し以て爲替相場を調節しを設置して高替相場を調節しない。 銀勘定に移し政府 金利引上の常道によりて金の回金利引上の常道によりて金の回の上が一貫準備に加へる事もある

に避した報道に使れば南版の形勢に避した報道に使れば南版の形勢 勝然氏の出動と貢献の膨緩を電器と左の如く酸況や利を綴じて何なし、大力を綴じて何ない。

耐度の

政府所有在外正貨

は柳州に在りて英國より多額のとは柳州に在りて英國、黄紹雄氏等海膜西派とと所書し李宗仁、白崇韓氏と、大米銘氏を迎へ開廣政府を建し汗光銘氏を迎へ開廣政府を建し汗光銘氏を迎へ開廣政府を建した。

ての後は景氣恢復

金解禁後の財界觀測

一年間物價下り

だ職定せざる模様であるが大陸左 駅について井上版相の見込みは未 別について井上版相の見込みは未

宗養後一時保合状態となり園民 解禁後一時保合状態となり園民 世になり貿易入超に轉じ正貨流 出し物價急落する、而して此不 景氣に依り再び消費節約行はれ 財界が立直るであらう

第百五十一號金銭輸出許可申請に

正金為替建值

更に引上げ

廣東入りの準備

陳氏が反廣西の聲明

は で國民政府も新鶴廣西歌と改組派 なり緊張し震東の危機迫れる複機 なり緊張し震東の危機迫れる複機 で関民政府も新御度四派と改

張氏着々と 加はつてか

奉露交渉を

労農軍退却せず

達賴諾爾の燃料を得んごす

は十九日定時株主総舎を開き株主 は十九日定時株主総舎を開き株主 配富年大歩(一歩増無)を決定し

満洲里は放棄か

高島代議士 同京十九日蒙電 | 統編 「東京十九日蒙電 | 統編縣歌出無 所職作歌士高島殿作氏は十九日民 政業に入り民政業は百七十三名と なつた

統計會議助成金

「東京特別十九日及」会解禁も廿 一日又は廿二日競表されるが正金 語菩薩館は二十日若)は二十一日

中に更に一ポイント方の現上げを一覧に付け込み独外な要求を提出し、特別のは二十日若くは二十一日 下以や廣西歌は展東端の相込み郷の静勢整飾は二十日登載されるが正金 【東京十九日發電】張麗霊戦の南

調印濟の電報は

一日に來やう

注目さる

宋氏の許昌急行

中央軍の軍費調達難

あら新かる場合を殺したも

井上藏相閣議後語る

旅客車を襲ひ 露軍が虐殺

る方針であると語った

また達頼諾爾附近で 満洲里に火災説

魔人院三日後に迫ったが未だを東京十九日發電」金熊縣の明示

験相閣議に報告

能なきになる。

即 京十九日

計十九日の定例

同国調印済の電線の來るのは十 一日にならう、其上で即日解禁 会をはすか成は十二日にするか は其電報の驚いた時期の報合で がある種りである

原因を那商倒産の

ので津島財務官から英米・制定調印は今明日中に一制定調印は今明日中に一大制に調印が多いが、大に関印が

約一師團

邦人は無事

金解禁令の形式

職相に一低したと報告し際員は一號の事務を井上

子宮さまが

初の賢所御參拜

日本人ご貸家

おける經濟界は近年稀に見る

奉天派

中央軍に

武器彈

藥を供給

代表に要求され

來る廿六日執り行はせられ

御内宴のお催し

きのふ閣議で決定

出数止に関する件及び大脳省哲宗

OO日より之を施行す 止す

事となり。天皇陛下行幸中のため來る二十六日終り行はせ、東京十九日観測』幸宮和子内観王殿下には十八日を以て早

若し之を犯した者

事者政府に新し武器弾薬の供給方 四北方面の軍事源追のため免税激 のため免税激

十二幡に武器艦撃を海難して機器の手を行なしめた総の場で、車大脚を超み職く近日中覚卓

支援軍用無電に使れば回憶は無事

は未だ中國の内配といふのは「今日 は未だ中國の内配といるのは「今日 が大きに関係しているのである。……とは中國 が父の反素としているのである。。 では、大だ中國の内配といるのは、「今日 が表にしているのは、「今日 が、大きには、一方のは、一方のは、「今日 ののは、「今日 のは、これたものだといる。 のは、「今日 のは

一不

四五

| 「ハルビン特徴十九日後]| 塗鍋店|| 交通は依然不須、砂婆されし線路|| 信交通は米だ不須である|
「ハルビン特徴十九日後]| 塗鍋店|| 交通は依然不須、砂婆されし線路|| 信交通は米だ不須である|
「ハルビン特徴十九日後]| 塗鍋店|| 交通は依然不須、砂婆されし線路|| 信交通は米だ不須である 移入難色

めの所可能度聚に難して朝鮮總督 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 財論されである月郷平城参入のた 勝列車で 横脚路の8 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 駐日英國土 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮米杉人統 「東京十九日頭電」朝鮮地野

満洲事情を

領事から聞いたいけ

佐分利驻支公使談

一五木〇三大七後 五九 三八三六場 三五 入四二〇引

駐日英國大使

商談不成立と云ふのだからどうし 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても 一日五千川郷一文切れても

大地方事務所、無法等に助して、 生性解析、これ等財産を 生性解析、これ等財産を 生性解析、これ等財産を 生性解析ので、これ等財産であるが、何分財産ので、これ等財産を 生性解析ので、これ等財産であるが、何分財産の なので、これ等財産を 生性解析では今日之が経済を が完めての財産を を対して大きな財産の を対して大きな財産を を対して、 をがし、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をが、 をが、 をが、 をがし、 をが、 をが、 用すること」なる模様である 重り率天に於て歴史運搬や戦の調 を行ふこと」なった、なほ果尿 で変数には明年度より自動車を使 の運数には明年度より自動車を使

至った、然るに出衆域が昨年に出ると、 で及び出題り間にも難らず寒安へ 定例閣議

の を終すことは至戦であららと見ら その難あり小舟と乗も溯杭不可 世級子へ毎日到着するのは一千車 河へ此直上流は有名なる三道架 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 によった関係からであって共航運 間 (計画と呼吸として和標度) であるり、一次では、一次であるり、一次では、一次であるとは、一次であるり、一次では、一次であるり、一次では、一次であるり、一次では、一次であるり、一次では、一次では、一次では、一次である。

の状態である。此原因は有力なる一見込がないと見られてゐる状態に贈り續せとして酵産者を出一資本家が用資した資本を引放した状態に贈り續せとして酵産者を出一資本家が用資した資本を引放した

プの最美を実出したりラデオ

北満特産輸送の

別途方法を講究

新航路

奉天で調査

東鐵配車不充分の為 外米輸入制限令

辰林省は延期の方針

東鐵の輸送能力

不良車と軍用徴發のため 一日に一千車程度

百十七輛なるも 「長春特電十九日預」東支機選に「あるため三十順送車に換算すると 「第二百五十三輛(一帳に於ける)而して一萬二百五十三の全貨車中 数)客車七百二十四輛、機関車数は貸車 五千百二十六輛位のものである。 とはる客貨車及び機関車数は貸車 五千百二十六輛位のものである。 とはる客貨車及び機関車数は貸車 五千百二十六輛位のものである。

で講像線長小鼠車三十呎の学数で一りに爬の徐遊線に入れられストーで講像線長小鼠車三十呎の学数で一りに爬の徐遊線に入れられストー百十七輛なるも

炭坑を陣地とし

西本・田四十銭にて、前月に地し三十五百九十一四三銭総額十二大萬千五百六十三四十十銭にて、前月に地し三十六百八十三四七十五銭の増版を示し現在の全権制製官を大約三十五銭の増版を示し現在の全権制製官を大約三十五銭の対象を登してあるわけである。而して母月五、大千回坑増加 毎月五

【吉林燮】聞く所に使れば敦化解 政府公安局は今回吉城省政府監防 適の密合を率じて同縣管内に於け る朝賦人の商店、慰控、誤院、数 會其他土地關係の諮機關を調査し

は四千二百〇九人八百五十一月十五日現在の撫城 「機順城」或る官権の願 小逞團や支那地主に懲りて

Yes, let us go for a walk. It will give us an Wait a bit, please. I haven't washed my

で一興京、戦安、通化、鷲甸各縣に於人 人の増加である。右増加の原因は こは大に融和 16. Yes, but I feel hungry.17. Then let us go back. Breakfast will be ready.

大津ッ 時局の混乱と共に民動 を含し密かに兵士を募集しついる を含し密かに兵士を募集しついる を含し密かに兵士を募集しついる を含し密かに兵士を募集しついる を含し密かに兵士を募集しついる を含し密がに兵士を募集しついる を含し密がに兵士を募集しついる を対して居るが、

一月末の締高が約百十二萬

五百圓を貯

英文 養成並懸印雷寄宿含有

で大三大連条の社 で大三大連条の会

名別 スグ出来ます 大山連(日本種近) 吉 野 鍵 大山連(日本種近) 吉 野 鍵 本本タイプライター印電 田本タイプライター印電

五球

利 非町大連製肉所 高質量順便製町ルウ 第四〇二三へ

専門のヤナギヤ 献マツサージ

生花機花

物本丈太郎 電話四六九二書 人 異大道二葉町六〇

0

中等學校

(祖籍) 湖域 阿福 三事)

「大連美海町の九五町 を 一下 に 一下 一下 に 一下

乃利全體

第三十回(第三十週第廿五课) MORNING.

You ought to get up a little earlier.

Make haste, and dress youself quickly.

Because it's very good for the health.

Are you still in bed? Get up! It's too early yet. Not at all, it's high time to get up.

Why do you get up so early?

How did you sleep last night? 11. Very well, I never awoke all night.
12. What a beautiful day!

What a delightful morning!

How nice the soup smells! Are you fond of soup?

20. Yes, very much. Pray, pass me the salt.

appetite.

face, yet.

What time is it then?

It's a quarter past seven. 6. At what o'clock did you get up? 7. I get up every morning at five.

本意には此方配の影響が幾んど及 心で居ない、それだけ住民の類風 が粗放であり且つ製機である。が が粗放であり且つ製機である。が が相放であり且つ製機である。が

二リットル壜詰 二件一合入)

一千九百二十二年以降、墨西 一九二二年 中 一九二二年 一九二二年 1000年 1100年 1100年

た於ても同様で、太平純常の谷市に於てのみならず、新葉との活動で、大平純常の谷市に於てのみならず、新葉との活動で、大平純常の谷市に於てのみならず、新葉との活動で、大平純常の谷市に於ても同様で、太平純常の谷市

する日本商人の服務品は合いて居る、海外等は著り個人を必要している。 一である、海外等は著に限ってある、海外等は著に限ってある、私はそれに就いて である、私はそれに就いて である、私はそれに就いて である。私はそれに就いて である。私はそれに就いて である。私はそれに就いて である。私はそれに就いて である。私はそれに就いて である。私はそれに就いて

御遊所の衝撃消費貨店へ御用命順ひます

號子醬油株

女給 正急 △用本人来胶

提打 和拿問屋、膨脹党大强站 小木號一 電七七二四番

中国地土の ・ 中国地土の ・ は中国電流 ・ に遊鳴者多数と ・ は中国電流 ・ に遊鳴者多数と ・ は中国電流 ・ に遊鳴者多数と ・ は常 ・ に遊鳴者多数と ・ に遊鳴者を を とを を とを ・ に遊鳴者を を とを を とを ・ に変い ・ に遊鳴者を を とを ・ に遊鳴者を ・ に変い ・

幸及

は 中を巡過せしめ かを逃過せしめ

市民の火氣収扱に関する注意を喚調する常原ビラを盗り届け大いには管内各只にもれなく火災防止に 大・トバイ等を利用して市 大・トバイ等を利用して市 の設施でした。「火の用心」の宣 があし、交合派出所で で、大の用心」の宣 野神講堂に於て防火宜傳映

2 看象拠別員 同弊事会は十九日午 され其體的運動方法につき協議す る處あつた 町の

鷄冠山に愈よ

帝して七月夜逃走した月下捜査中(三四)は主人の全二百十五腑を扮な掘り十番地聚艦顕方店員学根方 で職決された消儀感謝に動する抗 枕木購入請願

小仕事は漸次行ふ

市中商 消費組合に對抗して 八も

に捜査網に出たが家出の原因につこれで聞く處によれば清子は元無機。 小島きみえ(ご)と共に十七日朝 事田中清子("もは同様酸婦ごろ事 **計日より移轉使用することになり** 内部改造を進めてゐる奉天即では

現金歩引き販賣

取に有利 金解禁は月給 ねてゐたが久見は三日前編をに贈 满蒙植物

の採集雑話(1)

分ながら書き重めやうか

業家はが設めて の光草とでも云ふべきことと

の電気の結果として指物の

大車輪の状況

覚聴とでも云ふやうなことを 寸小言見たいなことを祀きな

私の漫画したのは大正十一年十

からお話したいと思つてゐる。 総には採取を置として採取中に たが時間もないしこれでまる 第三 見たこと階級 私の渡滿した當時 編金

一 人なるが故にその来牒をけがす光 一 へ起き、開来旅順高等女際校で得 を設定したのは繋の職物を研究して した。関系旅順高等女際校で得 したのに繋入コマロフ氏の したのに繋入コマロフ氏の はの渡浦した當時は浦嶽の植物

日後、同じく南番別職物関語 (1) は一般の手になる補業の概せざるものには一般の手になる補業の概せざるものには矢部博士者南浦州機制であった。

が出て来た。

一年頃は殆ど英嶽の薩輪見に大正十 何れにせよ私の渡端した大正十 に種の決定が出来ない。

勝山校長勇退

が少なからずあつなる。
日本の植物を研究するやうに徹底がも其他の方々のは悪だ失謀な中 端から研究して見るが日本でるてなる其他の方々のは悪だ失謀な中 端から研究して見るが日本でるてなる其他の方々のは悪だ失謀な中 ザウでない。見るもの路れ植物すあつた。 移をして成板であるの矢頭フウロ るがそれとは異る種類があつたり

完所 (大連)等に減せられてあったし、其後大賞一郎博士及び近藤 金吾氏等の採集したものが教育研 を書氏等の採集したものが教育研 進行中であるが、脚年初夏辺には れてるた住民も之が一掃される事最近兵舎の基礎工事にからり驚く 再々馬厩の観光に頗る不安にから総々守帽中膝が駐在する事となり、腕の守棚兵が駐在する事となり、のを暴緩離緩山は多年の程器なつて 完成する管にて新築と共に一價中 所在地は矢部博士等の採集した

つた。数材採製に附近の山野に出

來る廿七日開催決定

高女校の學藝會

戦殺さる 電線工夫

一十七日午前十一時二十八分より郷 一十二急行列車が昌陽解を襲車せん とせる彩が、同職橋・大連起販五 一二縣自の三等車に乗車せんとした 一本族にち下がつたま、進行せるも 本族にち下がつたま、進行せるも ででするとした。 一本族にち下がつたま、進行せるも ででするとがはの別域の地域に対する。 一本族にち下がったま、進行せるも ででする。 一本族にある。 一本族になる。 一本族にある。 一本族にある。 一本族になる。 一本族はなる。 一本族になる。 一本族になる。 一本族はなる。 一本族はなる。 一本族はなる。 一本族はなる。 一本族ななる。 一ななる。 一ななる。 一ななる。

職事事職主任の智な配務 無時頭陀とアーメン、資師 とがコーラスをすれば大時

何でも御利用下さ 大連案 內所 Va 査に報めたが整備するに至らなかでは直に非常観を張り即成の大概では直に非常観を張り即成の大概では直に非常観を張り即成の大概では直に非常観を張り即成の大概では一次で、過程では、1000円ので、1000円の

物笑ひの記事

中に酸表の智

に棚り東洋野院に入院した

春

声訓雪中行軍

かたので、十六日午後古 かたので、十六日午後古

製鋼所の

であつた

戦高校長が敷低すること」なった。 最後低は適低者あるまで前田千金 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校 では、一人日財野感した。同校

・無付かざりしが、神平後致りと ・無付かざりしが、神平後致りと が無対ながらしが、神平後致りと

太太市景

▲エマーソン氏 會社架務批判指 ●問題事 二十日来被の答 ●問題事 二十日来被の答

馬賊姿を晦す

|瞬の火災原因については積荷の簡単地概率天闘構内で燃失せる質単一 貨車燒失原因 間係がある」と関し大の如き職職 は十七日愛いの吉林衛野職に終て に十七日愛いの吉林衛野職に終て は十七日愛いの吉林衛野職に終て

寒さご時化から

戎克が陸續避難上

玆一三日で百五十隻

たのではないかと云はれ交清子は を開放機断青癬艦駅校長大郎に難し のではないかと云はれ交清子は が上端の「青癬艦駅校長大郎に難して のではないかと云はれ交清子は が上端のでもの男の後を通って行っ なりきみえを伴ひ郷里長崎に飾っ なりきみえを伴び郷里長崎に飾っ 糖がきいてゐないので楽品のついた方の轍が首を出し隣接の隣す程 た方の轍が首を出し隣接の隣す程 た事が判明した之がため蝦重荷造 た事が判明した之がため蝦重荷造 が表した。 大事が判明した之がため蝦重荷造 原因はボール箱の紙質が悪いのと 原因はボール箱の紙質が悪いのと 用機寸の自然酸火ではないかと云はれてある矢先偶々十六月栗県設造の機用機寸別配印入荷物一個設造の機用機寸別配印入荷物一個である。 の競火も石の原因ではないかと 然酸火した」め直に 消し止めたが

潮の如く

故王氏の葬儀費 高め長帯離の影物教入は十六日二 中職の選出十二事、合計六百七十 四車と云ふ来曾有の數量に遂し長 一四車と云ふ来曾有の數量に遂し長 一個本と云ふ来曾有の數量に遂し長

川劍會の盛況

曉の雪を蹴って

違反狩獵者調べ

から老師山神一然に出滅

が十三米突襲を示して として今日では称繁温 として今日では称繁温 として今日では称繁温

で 海とともに海上方面の克戎船は此の敷無来と も 西港側見崎突端に駆留時ならぬ 北郷を基し際部状立、壁との連載入港す も 西港側見崎突端に駆留時ならぬ 地郷を基し際部状立、壁との連載 で 海上は赤一層の賑はいを呈して

たのではないかとも可はれてゐる

長春曜に於ける貨物概込要量は益

既に千六百萬圓の收入

電地青年職機所では十七日午前九 地南を設出、四村各権職員に即合し小 時生徒十數名大和校庭に集合し小 時生徒十數名大和校庭に集合し小 地。 芝田、四村各権職員に即合し小 地。 芝田、四村各権職員に即合し小 地。 芝田、西村各権職員に即合し小 地。 芝田、西村各権職員に即合し小 地。 芝田、西村各権職員に即合し小

増收が約六百萬圓

拳銃强盗追跡

火の用心宣傳 十八日奉天警察署で 第五千六百厘と云ふ大吹入を示し 第五千六百厘と云ふ大吹入を示し 年度初以来の被吹は去月以来取り

は雨瀬東支貨物連絡事物収扱者派六日以来事海を開始したが、名稱六日以来事海を開始したが、名稱六日本館委員四名、東支館一名にで十六日以来事海を開始したが、名稱

消費と榮養の

時までと八時より九時まで、午後

節約デー成績

瓦房店

動飛翔の時間は午前五時より六

研究が目的

振武場びらき

-八日の榮養展覽會

日朝來奉 十七日 收は貨物數量五十元萬噸金額五 所復活問題 長春鐵道事務

川率天署警視 十七日新民府 **郷消事務所營業長** 十 寧線にて北平へ上 大本年多季は北諸貨物の大洪水が改 しいので、早くも戸新畑道事務所 して長春緑町舎局は左の如く護った 大社で内定してあるが、右に関 が直接監督せればならのかも知れない。 が直接監督せればならのかも知れない。 なが常方には何とも『知がない。 は、現在のは、第一次、本に関

一般の同情を得たが、又右工場と提びの同情を得たが、又右工場と担いが大いに邦人のほめに無を吐き一が大いに邦人のほめに無を吐き一 **燐寸工場新設** 東

守備中隊が駐屯 兵舍基礎工事に着手 本 大学 () 本

福品評価は十七日能伝統の 水稻品評會成績

第一回水

本方事御所郷に属せらる 地方事御所郷に係じは十八日から 二十日までの三日開爆災病風家軍

通大脳商店と最終第一回河に第七ちる 「部に発見され十八日殿重殿第の上 「部に発見され十八日殿重殿第の上 永樂町三盛和方店員蔵絵型、大正 居るので襲祭装では戦重収締中で あるが、北二條町脇井組張連仲、 あるが、北二條町脇井組張連仲、 購買組合改善

美しい同情

澤幡部長遺族

一兵士が

山

無燈自轉車にお灸

和工時自動車にて出発同夜大調子高融及合は来る二十二日中日 に一泊二十三、四の帰日航石山州 近に於て東洋を置す響であるが、 を置以外の者を概理する由帯駅本 は大人會長途甲込まれ度した但会 を関以外は自動車性は東東地 は大人會長途甲込まれ度した但会 であるが、

黎子寫

野金一二三日金銅二千百六十五 三十風保機十六五日金銅四萬四千百 三十風保機計三十圓五十第 一大以次、10十三十圓五十第 一次以次、10十三十圓五十第 で、之が豫財宣順を去る十五日より市内全蔵に取り後と で、之が豫財宣順を去る十五日よ

宗教家道の平和の前りも成功する たらう▲但! 露更 兵に酸卵する無 だらう▲但! 露更 兵に酸卵する無

略は遂げ得たるも白の外等社厚か を換黑甚だあし無論十八に行びざ を換黑甚だあし無論十八に行びざ を換黑甚だあし無論十八に行びざ を換黑甚だあし無論十八に行びざ を換黑甚だあし無論十八に行びざ

軍用鳩の

公主嶺

ご迷惑

狩獵家は御注意

辻强盗現はる

に粧化。おな品。上

(五)

品秀優な心安も最に生衛に美



に離れられぬ事の一つに「お

みさ優しみを見せたお化 婦人らし 仕方に多少の差違がありますって手心の加へ方や御用心の 柔かく保つここでせう。但し粧はざんなに御家庭を明るく 就て少々

心の点

三十

注意ですが、殊に若い方々に こつて必要で申せませう。

電点の日から入り易いもので 乳児の日から入り易いもので 乳児の日から入り易いもので

して一様に白いには遠ひあり

粉(煉)ミは優れた化粧効果

の御用心は主には次の事々でこの時代のお化粧に瞬して

> おろそかに成りがちのもので しく、知らず識らず身嗜みも

の奥様時代

四十くらるまで

出來たもの、更に進んで白色

普通の水ご白粉ごを合せたも

美顔水(肌色美顔水も)のや

學校へお入りになる年頃にな 一つは、白色美顔水を、 粒お子様力が中學こか高等女 二つの仕方をお勧め致します

から色の白い方、生地のよいのわる光も消む、本常にシン

き、季早くお化粧が出來

くの醫學者方の研究確表によって終つたりする等の事は多

つて説明され、從つて近來ま

りません。 概して言へば水白粉が一番便 ▼お化粧を手早く 濟ますのには▲

でしたら、誠に勢なくすら 利です。こりわけ白色美顔水

の御心配もあつたものではあ 早に出來さへすれば、ごちら が、併し、お化粧が夢なく手 も中々六かしいものです

しないからいふ御心配…、ご餘り構はなすぎるこ思はれや 然うなる三个度はまた るものです。美顔の白粉は、

白粉分が流れやすく、從つて 類のお化粧は乳房の選まで

何れもお化粧上りの白さが然 ら、家庭の方々には特に推奨のよい郷かしい白さですか の曇りもなく、本當に純で、 よいツャがあり、如何にも品

お化粧下こしては化粧用美額水をガーゼの小片に含ませ すご、一際化粧効果を高め非 粉のトキ水ごしてはやはり化 粧用美顔水をお川ひになりま

常に美しくお化粧が上ります ですが、然ういふ方が肌色美な化粧が綺麗によらないものお化粧が綺麗によらないもの ないのが自然に思れまた脂肪 肌色の微妙な作用で色の白く 節水でお化粧なさいますこ。 なつたりし、また脂肪性の方 ない方は、白粉が變に態こら 議によく合ひます。色の白く には、また肌色美顔水が不思

白いこいふのも種々で、何こ らお分りになりますやうに、ませんが、少しお目が馴れた ヤの少しもない白さなごがあ なく煤けたやうな白さや、ツ 繰返して二三度重ねて附ける の乾くのを待つて又同じ様に の乾くのを待つて又同じ様に 無船白粉こして推戦されてを一を有つこ共に、最も優秀な純 仕方をお勧め致します。 のが秘訣です。頭は殊に顔よ 次に白粉はすべて一度に濃 漫く附けますから、此の

肌色美顔水は見た所うつす 作用がありますので、その附 ち、清新で且つ品のある、程 のよい美しい白さなのです。 らした肌色味を含んでる ▼色の白くない方 上つた白さは、餘り真白す

脂肪性の方▲

年頃の令嬢を建立つて買物 年頃の令嬢を建立つて買物 附いた、深い美しさが現れて るやうな若さ美しさは素ごよ 見いますこる! 今嬢方の張 様で、本雷に母性らしい、落ちのですが、お母様はまたお母

このです。このお化粧は本書

お好みに應じていづれさもお

ものであります。

極めになれば宜しいのです。

の上から美顔粉白粉を刷附け

美に就てヨリ

祖母様になり、お母様が若いお母様になり、お母様が若いお

施て令魔に良縁が取結ばれ

なる御注意は先づ次のやうな

断米の婦人は年のいくほと

ひますが、それは確かに理由

こするのです。 **岩いが故に自然に美しいのこ** せんが、流石に若奥様時代の 年寄なごこいふのではありま のある事です。若いお祖母権 それでこの年代にはお化粧 もヨリ多くのお手當を必要

なは

に勞なくすらり

めお手数は半分し お化粧できるた なたにも思ふが儘

大變に附き易くざ

美しさは

獨特の化粧作用で

非常に上品なそし

来ます。皮膚の美を養ひ保も いふ事が一そう重要になって の御注意も勿論必要ですが。 更に直接の皮膚の美を養ふさ

めには白粉以外の「美味」の清楚に美しい…、然ういふた 素質が特徴に▲

化粧美を現はすた

て非常に清新なお

め美しさは二倍人

アプラ性の方の白粉

化粧用美顔水。これは皮膚

清新な……お化粧に……

・ お嬢さんこは御姉妹のやうに はまでの間ですが、概して四十 なまでの間ですが、概して四十 なまでの間ですが、概して四十 はまざいので、大きい から言はれる方々も多い、然 當よく振つて事附けになるの 所をお川ひになるのです。 を軽く振つて、除り濃くない 肌色美顔水でしたら、 今一つは肌色美顔水です。

すなのがあります。 白色美顔 水は、桃谷化粧品研究所で完成した純粋無鉛の白粉原料の 成じた純粋無鉛の白粉原料の

をの方々のお好みなりお年恰 がなりに應じて、御自分にョ 好なりに應じて、御自分にョ 代の方々に似合しく、確かに 美しさを高めるお化粧です。 瓶を相引 方ご同じやうに美しいお化粧 が出來ますので、此のために は機らかづつ減退し始めるも 見もすれば顔に微細な小骸や 衰へを防ぐ當の ら質川なさる方が多いのです お化粧と手當…

北が美質水

手早くお化粧な

さいます事…

に暇が掛り、兎かく鏡の前

長くなるやうでする。

手早く勢なくお化粧が出來る

の時代にお心なざるやうお動の時代にお心なざるやうお動

▼お洒落と思はれて は…との氣味ね▲

からつひお化粧が随切にな

さにも種々あり

品のよいお化粧

▼序でに念のため

申し上げます▲

粧です。美顔クリームを少量

これはでなたにも大切な

斯ういつたお化粧には次の

お化粧上りの白

美しい中にも落

見様によつてはまた生れつき 白さは誠にしつこりご落附き す。「肌色」の類を軽く振つ 色の白いのだこも見わます。 てあまり濃くないやうにお附 うな肌色美顔水のお化粧で 今一つは美顔粉白粉のお化

お化粧があまり まつ白すぎない やうな仕方二つ

年はいの方にも

これは乳台の美容液で、皮膚をつやくこ、しなり、皮膚をつやくこ、しなり、皮膚をつやくこ、しなり、皮膚をつやくこ、しな を美しく整へます。美顔氏初め、皮膚の気養こなり、脱理のないでは、荒れを止め、皮膚の気養こなり、脱理 を見へ、素顔を指えケして美を引撃め、皮膚に弾力、生氣 しくします。美額ユーマー 質ごを適度に含み、決して の荒れるやうな事のない。 り上質の洗顔料です これは純良な中性脂肪を蛋白 新ういふものの中から何自

お化粧なしの素調も異に精美 や皮膚のタルもやシも等。す 分のお好みに適したものを選 んで常用なさいますこ。

別のがもなくはないやうで ありのがもなくはないやうで すが決して然うではありませ く肌色美顔水をお用ひになり ん。此頃お化粧上手の方はよ なしく論魔に美しい方も少か らず見受けられます。

美容成分は、皮膚に弾力を興 こしては、やはり白色美顔水 たいのです。 言肌色美顔水ミをお動め致し へを防ぐ手管を乗ねたお化粧この、年から來る容色の衰

色美質水や肌色美質水を常用ものであります。それの系白 さを保たせる力の極めて強い 品もある、美しいお化粧をななさる方々は、常じ濃新で、 さるこ共に、同時に、年から

いお祖母様と お成りになる頃まで

来る容貌の衰へを妨ぐのに極い めて良い手葉を行つて被話を

ヒカウ

V

コレハ アメリカノ

レークハースト

リガ

アカリ ハラ

シタの

ハラヒオト

シス

イタキハノ

ウラ

發送先

質児童緩物」と朱書のこと

十二月五日限り

ドコノ

x イケ

V

ノアヒ

ナモ ツテ

話の歌

はどなたでも差支へありません

英に満洲の色彩の豊かな内容の明るい気は小事生に限る

一等二十四、二等五四

ウティク

アカシヤ

ナタカゼガ

ニアル ヒコウセンノ オウチデス。ミギノ

ハウガ

*

ヒダリノ

ハウガ

オカアサン マソナカノ

フタツガ トウサン

なくなるようし

「えん!」

んは常分一様さんにお話しが出来

にはだんくくつもつて地めんが

まつてあます

「それから一雄さん!このおちさ

とおぢさんは思ひ出した様に

降つた雪が地めんに落ちると始

どの所に行つて空から落ちて來

した狐さん、この肉は貰つ

本書にうまいれ、

君の

つくりしてしまひました。

新年兒童讀物

懸

とのおちさんの言葉に一峰はび

ユガ

と此の時、突然ズドン!と緩砲を見向きもしない処です。

んに御禮をいふのでした。

・一様は木當に嬉しさうにおぢさ

面的いなアー

歌きと共にまてどうでせら、

こんなことを云つては哀れた鳥

だよ、そんなことをしてるたって

うまいものは見付からやしない

一これでおしまひだよ」

ぶやいてざしきに上つた。まだ

「やはり器になったなる」とつ

お父さんもお母さんもねむつて

りませんでした。

をよくして自分でさがすのが一番

近くの草の繋みへ逃げて行きましたので大害びでびつこを引き乍ら

沈つてるらしていると思

今日は雨か雪が降るだらうと思聞にひろがつて居たので、僕は

外に出て空を見ると深は雲が一 今朝起きると大へん寒かつ

0

久保田

洗ってゐると言がちらくと降

つて来た。僕は

Ħ

では紙に書き、

するのでした。おおさんは一峰

白く話し出すので

おおさんはさらいつて手まれ酸

おおさんは集めた切符をより分け 配をしてじつとそれを見てるます

何をするのだらうかどいふやうな

馬鹿にするところまでよ」

すぐおしまひだ、それか

「ほら、お山で未狐が病気の鳥を

精

が遊びに行ってもお仕事を放つて

両話をしたりなどは決してしませ

自分のやるべき仕事はちやん

云ふのでした。

てゐるおいしさうな肉を見ながら

それから木、その鳥は狐の持つ

「木、僕は本當に足が痛くて仕様

「おちさ



である一雄さんか、どうした今日 に遅かつたネ」 に遅かつたネ」 ん今日は!」 改札係の おぢさん申 でした。間もなくお仕事は終りま

を直すとニコく 地迄話したつけし 「昨日はほらあそこ途よ、あそこ 「さ、今度は御話しだ。昨日は何 「あそこて何處さ、 おちさんは一雄と向ひ合ひに席 した。 しながら云ふの

(大学の歌にもこんな歌情な奴が居) 大学が狐だつたら喜んでやるのに でもないなだなア、若 狐は崩亡らしばな難をして食べる るのかなアー 鳥は思はず太いためいきをして さらに頭を

「どうだ欲しいだらう。 オ気にう 見るのでした。 いく したものと欲しい肉が手に遭入つ 云つた通りだ。 鳥は思ひがけない緩縮に驚きは

るからし

「ほーう、そりや障い、一寸待つ な、おおさん今少しで仕事が終

> しさらに見てゐるよりほか仕方がめた鳥は何も云ふ事が出來ません を食べるのでした。けれ共足を縦できるないでした。けれ共足を縦が 「足が縮いつて?そりや君が悪い なかつたので けて損だ木」 僕みたいに利巧でないと何かにつ だから君がのろまだと云ふのさ、 から撃たれるのだし の肉を少し分けてくれないかし も食べないで困ってゐるのだ。そ 「仕様がないたんてあるものか、 「でもあの場合しようがなかつた それにもう赤い間何 大手ヤンノ センスキテイガシッカナ ウミノウヘヲ イキ・ホイヨク ハシリツッケテキルトキデス カンパンノ ウヘニキタ ブルハ ケタタマシクボエハジメマシタ。

> > モノガ アリマス。

・長居は危ふ ウェーナリマス。 ウェートモーデキルヤートモーデキルヤートモーデキルヤートモーデキルヤーナー クヤテオ

大チ ヤ

大チャンハ 1

ワダタセナガラ オヨイデキル タウミノウヘニ ルトーマイルバカリ イソイデ カンパンニ デテミ ナニゴトグラウト ミッヲ ハナレ

ノタンケン

大チャンハ サンヲ シタ ソノコエヲ ケタタマシク センシッノ オデサン! 3

N

3

チ

際

彼こそ商海を照す

ズであり、トーキー世界に跳来するア

オヂサンハ アワテテ ンニーカケアガツテキマシタ

静校姉さんからはまだ返事がまだろう」とおつしやいました。 こんなに文も字も響けるやうにな父さんは「野州のおばあさんなり お冷響を待つてゐますよ。皆スん返事を待つてゐますよ。皆スん 一番おしまひに「お姉さん返り 出すお手紙を書きました。 雪か、寒いなあ」と言つてゐた によく書けたね」とおつしやつ たので僕はられしくてくったす うまく書けたよ」とほめて下さ さんから返事が來ますと、大概 その内にお父さんもお母さん いました。お母さんも「ほんと とにこくして「きつと解枝结ちらつたらお父さんはだんく 費きあげたのをお父さんに見て ちてゐるから食べに行からし しばらくすると妹が起きて来て 「兄ちゃん天からおさとうが 僕の手紙 僕は假日たのしく

大連市西廣場西入る電車通 池田 地田 嘉一郎 第一郎

には必ず住所姓名を明記して下さい、紙題募してもかまひません。

機造一計算一體管宗像建築事務所工工宗像主一

中種 小書の関後属 中種 小書の関後属 一等 (金) 一种 (金) 一

二〇四人京東督振。町下岩愛區芝京東

本書に集る此讃辞・此反響をし

大連市三河町十八

を日本を風靡した!! 会日本を風靡した!! を対するでは、今や を対するである。 を対するである。 を対するでは、 をがまるでは、 をがなとがながなが、 をがながながなが、 をがながながながながながながながながながなが

起で! 經濟恐慌何ぞ!!

商傑ワナメーカあること。 かりは軽佻なる流行の製造ではない。 これぞ全日本商人の羅針盤、困憊せる者への「救ひ」だ麗なる筆蜂紅恒人の全き姿を日本に現出した。讀め!存する。彼こそアメリカ魂の眞髓だ。今、有川氏の瑰 彼こそアメリカ兜の電音ご。ト、「精神が儼そしてアメリカ今日の繁榮には彼の精神が儼メーカあるここを!「ワナメーカには繁榮がメーカあるここを!「ワナメーカには繁榮が ニズムが アメリカ文明の の浮薄なるジ 頁七十百四·判六四 帧 裝 趣 四 孝 地 恩 入 挿 葉 八 美 寫

存する。

ばめ飲 服用 薬服一の和昭

帰男男科 日下歯科醫院 器 察案

大速市教育の石条領角 佐志醫院 産内 電話六五0二番

錢拾五圖臺 價 定

M + =

門專科內 醫根嶋

前門正場市町濃信 三回三八話電

毛皮鞣、染、色 大型北學三 大型北學三 大型北學三 大型北學三 大型北學三

眼 江庄場馬 ルトクド

見光!!

5

家部の常賃値下げ要求の市民大館は船る一般市民の叫びを代表せんとしてゐるものであるが、聚して「家賃を値下せよ」とのスローガンは今や緊縮の影響の渦に合流して全國民の叫びとなつた?市民倶

家賃値下げの聲に

担ないでは 相をしてさ

は米蔵したいと思っ

近く人力車、

乘用馬車の

乘車賃を値下げか

小洋暴落の今日、儲りすぎるこ

大連署が調査研究中

大家主の意響は?

要求の成否は是参小数の銀行大家主の読否に贈つてゐると謝でい」。

「他の小妻主も多くは命融完者より抵害施保として拘束を受けてゐるのであるから實際に於ては其位。」と由太郎、井襄榮氏等個人を加へ五千餘人で全代家数の三分の一近くを有してゐるのである。配も、生由太郎、井襄榮氏等個人を加へ五千餘人で全代家数の三分の一近くを有してゐるのである。配も、生由太郎、井襄榮氏等個人を加へ五千餘人で全代家数の三分の一近くを有してゐるのである。配も、生由太郎、井襄榮氏等の銀ぞの歌を言いた。

供給不足で

得ないぢやありませんかて見れと言ふ人があれば止むを

て居りません

奉天でも開催

大連終了後、支那側の膽煎で

岸田畵伯も個人展を

大勢順應で

値下せず

儲からぬ

滿洲銀行談

ル内薄髪の間脳田モュ (三市 家質値下間壁を助っ翅で二、三市 家質値下間壁を助っ翅で二、三市

と、機関点とが構成する。アメリ まつたのである。 して断然の強の消しさを続じてし

花びらの様で、笑ふと練切り

・ナラット見えて……アンド、ソオー 施を養る時の様に並べ立てたの あつた。西濱場から常軽値まで マーニー

を虎難行きの背電が泣いて

緊縮は

伸びる

森島汽船坐礁

牛均乳質

鶴見港口にて

日本

の旗章

標語入賞者發表

来高せる記念作品とも興すべき海 ・ 東主郎の力作織ひで、渡浦記念と して在第の希望者には能ふ限り腹 ・ で、東浦記念と ・ で、東浦記念と ・ で、東浦記念と ・ で、東浦記念と

旦匠岸田都僧の個版と云四十四日東橋路底と云ひ本明

、會場

宿題

三句三句 本社會廣富

宛名

してこれは断然領座の佛説を

五十健ツて歓定がわかんねエのさいら来だに西廣場から常軽徹までいら来だに西廣場から常軽徹まで

から大海だつて既然白ェや

日時

旬者より川郷健全開いて新選の研 と熟心なる投句者とによつて益々 と熟心なる投句者とによつて益々

ガ

ケースないった

界は窓前の鳴り

計日美國



電話六 一三四 一第用信







婦人雜貨一式半衿、小間物



権利が彼女にあった 銀座の傳説でない大連の話 に、自動車や埋装場の練情ばかり、 大連はメツからねエツで事よ」 い大連はメツからねエツで事よ」 い大連はメツからねエツで事よ」 「米閣〇〇會批 西州作峽蓋△△ 尖端をゆくの

イス

その間の整欲は自分が4%してる をましても大して高いとは思ひきましても大して高いとは思ひっところの家實は人の噂に問きましても大して高いとは思ひきませんが、そのためか家質の滞った。 の年の收入三千圓を犧牲に **老虎灘の井藤さ** や斷行

四十回 以下の家庭に對して一創館下を断行しました。件

者あり物配き城職を挙げ銀行は非職人してみるのを設見され編纂との服を降らされ新聞別者も刑事との服を降らされ新聞別者も刑事と

嚴重警戒 高知市の騒ぎ

東名の負傷者を出した高加難下の一事堂に押掛け戦官略と観察し双志。

大瀬子蔵町三四無販手代木文三郎 大瀬子蔵町三四無販子代木文三郎 大瀬子蔵町三四無販子代木文三郎 大瀬子蔵町三四無販子代木文三郎 料・園、森谷は三島の町決場分に 取り押へられ十九日大漁場より養 取り押へられ十九日大漁場より養

賣藥違反檢學

『東京十九日設電』内部省は合計でで観賞要集中の公社交流活動を られ之が、腰票者は内地は固まり られ之が、腰票者は内地は固まり が低端をでは、一月二十日を以て統切 四千三百餘句に差し十一月十九日 西田社館局長官初め五名で観査報と 本一等 を確果をの如く案を決定した 高権 正一 整備は伸びる日本の飲章 型めよ心と財布の紐を勝て4ふより行へ今日より節約 2000年の日より節約 は緊縮時勢に做へ行の舶來昭和の國金

歐洲遠征選手决まる

越鐵疑獄事件

事 善 新 遊 整 善 遊 型 選

送局さる

2十五個

久須美氏秘書

滿洲醫大氷滑部

『春天神電十九日曜』 今多を期し で欧州遊ぼを試みること」なつた 古に常地を出現すること』次定し たが、之に裂ある選手として選ば たが、之に裂ある選手として選ば たが、之に裂ある選手として選ば

に関し久須美東郡氏の柳青役片編 た関し久須美東郡氏の柳青役片編 第一氏は十九日午前十時間表慮よ が「本局に設られたが夕新途には り「本局に設られたが夕新途には り「本局に設られたが夕新途には り「本局に設られたが夕新途には 官の運命に闘する側を掘るものと相氏の自由如何は懸さるゝ薬前大

> 在京神家大 製 業 年 月 京 版

婦產內

科科科

蜜柑甸問屋

宏來洋 日本航空輸送會社大選支所人題湖 新旅客機到着 大連支所屬の

二部が昨日周水子頒行場に到別しとしてシュパーユニパーテル新棚

武器問

八十順と云ふ多量の武器の處分にリックマース號が積載してゐた百

丹び外務省へ **ぶ者の協議握らず** 法を請求る事となったが、そのよりの回説を待つて更に適當な

五課人大巡開

ラデス 地相場(特監、銭砂時 相場(特監、銭砂



昭和四年十一月二十日 | 株式 名 義書 換/停・止公告 大連商品信託株式會社 工法公開 钾枫瓷钾自由 强 養

市病者等に對する

共株式會



○技能は隠れたる名奏を◆(羅師)

能はずして

日下香港に在る汪光線にを迎へ廣東に独立政府を樹立する模様で置

見られてゐる

地から輸す

0

京府内務部長に成じたのを著るし

で の飼く美運能製房が行はれず実際 の倒で着人物色されて居る機能であるが方めて人材を得る と の固喩があるが方めて人材を得る

材物色難

開東廳の人事異動

等の本情からして定まる管で現在▼…強って共の異動の範疇もこれ

取り一方内地より人材。 では、一方内地より人材。 では、一方内地より人材。

○ 日 5 日 知識にを迎へ後東に凝立政府を樹立する機様で雷地が促発歌の手に入るは近き粉水にて東を逃り確定成立したとのことで常地人心不安に貼った。張敬は医西歌との鴻察に依りた。張砂部後が馮玉祥氏に宛た電釈に依れば張単は近く医東に入る徳で歴史に在る陵総構取は十八日東曹』張豫潔軍は少江に沿ふて御雨。歴東省境を越え十七×韶綱に入つた官雪地に入電十八日東曹』張豫潔軍は少江に沿ふて御雨。歴東省境を越え十七×韶綱に入つた官雪地に入電

間機器官民合同の委員舎を設く 誘致策の統一連絡促誕を無 高路 数骨部内に甲央機器を置き外客 政骨部内に甲央機器を置き外客

が出るり時に一位と地である。

張發奎軍近

おりている事を精育業に出席する苦機首員一若槻全権の送別會

・制度権の

の更近異態が無近に實 内田像蔵氏が敷御器長たりし時現に配任者を得べく中央 宮時代で、美後金井佐久氏が千妻 久に配任者を得べく中央 宮時代で、美後金井佐久氏が千妻 久に配任者を得べく中央 宮時代で、美後金井佐久氏が千妻 久に 一般であるだけ 平場長として東窓したのが見玉長 に続いて色へ弦響中であ 無野寒部長として東京太 知の更近異態が無力の裏側ではなく内物局に

海拉爾一

支那軍主力集中

勞農軍の襲撃に備ぶ

| 本文物学十九日神 | 平天皆殿は | 長官グッド氏は胸膜炎の手術後寄弓三瀬壁雷縛を開いて繋駕間離。 | 陸悪化し本日午後五時四十年逝去野内間離を解談し転に繋駕間離に | した

ボ南船撃の鉄縄左の加し 十一時を動像に楽した常戦の連鎖

悪軍戦行機二十六機震を連ねて 多数の死傷者を出した、朝八時 直つて叙支雨車沖撃を交へ双方

戦しては具物協製件も規定しるる にも揺らず用方の時間に左右され である。然し最近に至り目下赴闸 中の幕天代表より観べとして順民 のの幕天代表より観べとして順民 がある。然の最近に至り目下赴闸

警告

コフ氏に

『モスクワ十八日發電』全職75 一次、安中館の決議中最も間 でしたが、安中館の決議中最も間

スロ解印の形式主観などにつき群 地する津島財務官の認識に魅し十

が金融祭に省合服止と同時 会見しタレデット製材郷印で 会議に省合服止と同時

米陸軍長官逝去

【東京十九日發軍】 井上縣相位十

交融に関するものと見られて は本日マタドナルド首相を は本日マタドナルド首相を

貿易振興ご

外客誘致

委員會を

首相藏相協議

海軍會

汪兆銘氏を迎

廣東に

に獨立政

連田師瀬延撃を開始し五時間に 製千の霧軍は十七×朝一時より

(日曜水)

変形状が形態を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候が危害を受けるなど支那時候がありません。

を開せるも士気は沮喪し撃天取の には支那戦の高婦祖三門あり政策 には支那戦の高婦祖三門あり政策 には支那戦の高婦祖三門あり政策

暴虐に市民 は困ってゐる

奉天の對露方針

が開始されてゐる

南京軍の不和説に鑑みて

多少變更を考慮中

調印形式手續

官公吏婦女子等は避難

飛電人は耐水道を組織すべく祭兵 地攻勢を希望してゐるが、一方武 地攻勢を希望してゐるが、一方武

戒嚴令

F

の海拉爾

で我能動開棚の促進家で交渉を有利に導くための威嚇策だと輕視し熱影略は支えた三蛇を襲ふと共に星衛、雨島方面をも影響する作戦を御ているるが支那館は勢起戦の攻撃は電災襲撃に支那館が影離せぬ場合は再び三方面の國境を超えて東牡州市、穆陵、西は海拉爾、東北とン特別十八日後、勢泉戦は國境沖北が完全に総派すれば青々哈爾を目標とし今回の遠嗣諸藩

製団境に集中するは明らかに参辨が交融の目的を有するものだと憤慨してゐる

東端に支那館が監修せ心場合は再び二十万百日 『ハルビン特徴十八日酸』 秀原軍は国境河川が

積極的

達賴諾爾の

そ

の前哨戦

結氷を待

聖上型下

等

民間

會社

食募集は不必要

航空除へ行幸

から

特の必要なきに至り從つて 特に條件の不利な外債系統 正覚を全神日観節定に移するるが、金牌製版行便政府

| 競の機能となつて外債を募集

必要は今後一切なくなると 今後は内國債に依る 東鐵商業部

研究會常務員會

株し送別の変を随す野 地以下各議成全部を首相官版に紹 がし送別の変を随す野

實業を盛んにすることを里 でも多く有爲の若人が出て 經濟國難に悩む日本は一人

出の好機!

画

青少

質業界へ來れ

『ハルピンが世十九は歌』東像商 本月六日物理記長代理和其光氏の 命により絶覚されたるに転しシ氏が なるとで構とし統領してゐるが、 は十八日常務員會を開き金融経験と云ふに意見の一致を見た【東京十九日發電】貴族院研究會

青訓の規則改正

十九日關東廳令にて

代表歸る

所 東 廳 緊縮不一 算は と決定

改正され一時既校の入屋、卒戦期の方、内二百戸絵は支那人部野戸のたのを其の年の三月三十一日にが遠鏡背見針する。

瓦斯需要

戶數激增

本年は六百戸

である 東側原援隊一個聯隊連續話儀方 東川原援隊一個聯隊連續話儀方

られた

東鐵露人は

積極交戦を希望

課長主任 會議の結果 一般である。 べき首相、 勝相の 新明につき 総乗

大蔵省の一

割五分天引指定に

新聞の家庭に続する瓦斯で展記工品項瓦斯會社に於ける本年度の瓦

青年議會の

各支部提出議案

奉天支部準備を急ぐ

神鬼が 一九日秋山内神殿を 地名より一郎五分天引を 相関が ちつで本概では十八日 では十八日 では十八日 では十八日 では十八日 では十八日 では十八日 確に四山部長程返記した の海頭節約倉跡を開催を があったが超鳥絶跡に節

勞働總同盟 役員選舉

等を行ひ會長給木文治、主事松崎 ・ 「東京十九日帰来」十八日の日本 會長主事再選

訓電を發す

津島財務官に對し

等したAめと見られる 第10世紀のは前民第四十から多年の第士赤松 が一般に際し氏が整路を育したのは前民第内 が表に際し氏が整路を育したのは前民第内 が表に際したるめと見られる

平大使英首相會見

関係事務の統一を置り左の事務智易行政の中機機器を設け貿易

(郷放之助氏提案) 一、商店労働者保護に関する件へは左の知し 浦蒙自州閣建設に開する件

上級學校入學の = 一、満蒙摩爾會開催の件 三、満洲貯金會社預金者救済の件 三、満洲貯金會社預金者救済の件

準備教育に偏す 州内中等學校の教育

となった。 を対し、 をが、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 支那は明年より

治廢宣言の方針

むを得取ところから

を 【東京十九日聖書』 國民政府は 2 年一月より治外提臘経際の外提欄の年有機能を國民に膨明し 一方的にでも態態を顕彰する場合、民法の事場を作成した以外何等の 尚早に一致し殊に支那内観の現状を関いて、 1 日本の 1 日本の

列國の態度注目さる

の事情化しつ」あるを観点の 出出、六、四〇日次、明れ二十十日(南の風)。明れ二 天藻籍辑

機告、タレデット設定す、またや どが賞任者としては、石間を叩い (株)類の影響にど、すでに**は**験ずみ すべての機能は、全く整へ居れり 金解禁、農局脈行、大によし。 りの整理歌歌に変して のを整理歌歌に変して のなってに充分の ■ 作筆天。振艇、縦山方面の観察 練田内部局長は左記の通り上島脈 ▲小川順之助氏(闘卑蹠殖所課 が) ■小川順之助氏(闘卑蹠殖所課 が) 監し繋げるよりは、生むが易しといふ難か。◇◇◇ 神田內務局長 工業會議滿洲 世界最大の潜水艦 東月上旬迄滞京の業定 中谷畝一氏(陽東麗藝務局長)東 大觀小觀 沿線視察日程 于) 同余道 に充分の数倍あ んでゐる!今ぞ進 見本進呈 来學校卒業の 年で甲種商 會員大募集 力が得られる 信用絕大 總裁澁澤了 帝京福

內科專門 「專門 **櫻井內科醫** 重話七〇〇〇

申込所

低落の

一途を辿る

はあります、といつて仕入館が高

高く賣るからと云つ

地、洋品の質、前品機および状粋、洋烈、洋画章、洋書、洋紙部、除訛及び金貨廠等は脈値で五漢口内隙の一枚看板金熊禁道るの形に物供、殊に解栄品の下窓浴々振りはどうだ―――――――――――――――――――― 二割方は安くコ・もとサラリーマンの天下である。ごれは紫外総替の鰻上りの勝世によるは勿べ分安、小養館に至つては一割、物によつては二割以上の大低落を見出した。お蔭で洋服など らう、泣いても笑つても金解疑まであと二ヶ月『準備はすつかり軽ひました、いつやられても大あらゆる商品の上に解蘖相場が現れ、今後は緊繞風の大勢に押されてより低落の一途を辿るであたが、解薬運備のため各商店が観ぶてストック媒分のメムピングに出でたのが最大原因で、低に

今たです」とは商店の一致した叫びである。 止札の書替へに 割方安くなつてるます、化粧品

毎日大多忙 「まあく」の買控へに 洋雜貨店はお苦しみ

關東廳の態度 けふ協議で決定 ドイツ汽船の武器問題に對する

稍稍

今後は懸令これを認込んだまゝド
大震武器権職に関し支那海陽側に
大震武器権職に関し支那海陽側に 事態愈る紛糾の有樣 在)等で日轄は

11十日春日校▲廿二日景線校▲廿二日景線校▲廿二日景線校▲廿二日景線校▲廿五日松林

★廿四日日本橋校▲廿五日松林

中校▲廿八日市山麓校▲廿七日朝

市校▲廿八日南山麓校▲廿九日

日補樹屯校▲二日周木校▲二日棚樹屯校

けるの献金・六十後大山通徳海 本科生▲二十個龍町一三ノ山通徳海 本科生▲二十個龍町一三ノ

阿部四段歸連

満洲を代表し神宮世中知道大画に 出場した関東脈翅道教師門段精戦 を護らずですよ」と直振して語る 第一回職に豪麗代表に敗れまし た勝敗はその目的ではありませ た勝敗はその目的ではありませ 者押送

外事機長、和田保安課長、寺田紀すべく十九日午は三時より三

み闘東艦にても断然態度を は艦々粉料の形である。こ

けふ入港のうらる丸に

一産話の花は咲く

いふから政は急順直下

るのではなからうかと云はれ

市外電話線

と……東洋大歌山島歌長加廉眺宮 して歩くのだ、修養談だね、なは日本國民は今どうした立場に の人連には無の母な事に思つて大海州に居られる人種に聞いて實 来たのたが約三週間に亘つて大海に居ので、佐養談だね、なかたくて来た」 ゆたくて来た」 なる今度は浦郷建 親の招利で 東たのたが約三週間に亘つて大連から奥地一體に亘つて大地のたくて来た」 して歩くのだ、修養談だね、な

では永明く事を恐れ、押收しつった、簡明くところによると

現代日本人の刺戟に

修養講演を

満蟻社會課の招聘に應じて

よ、上軸便の行動はすべて清漆が主として東洋大學の方に居るが主として東洋大學の方に居る

無資格者の私

光榮に威泣

観菊御宴に参列して歸連した

村井啓太郎氏語る

加藤咄堂氏來連す

けは自由した複線である がは自由した複線である。 がはのである丸で身種を同行 である丸で身種を同行 日十八番地無職程環 部長は直ちに神戸に急い

神宮競技出場の にお任せしてある『寫眞は啜堂 活も養金不足で困つてある場響したが、聞く所による 既に伴はれ十九日入職

中だった関東戦銃党官航空中佐港はいて開催の飛行場長舎談に出艦を開大日より十一日まで感信者に

何れにしても四月から皆様の期にたから今月中には行はれやら上・機が既に川崎で造り上げらまったけら

明春四月から添へやう

飛行場長會職出席の

若竹航空官談

務あるに川連ないと見當を で中の大連圏が必ず内地跡 で中の大連圏が必ず内地跡 筝銃密輸被 製保の問題では内 集つて開催された

ロ買入れ

20°.21°.22°.

失業邦人の手で

新聞に市外電話回線を各一回場話近く公主線、震房子間の市外連話現状に鑑みび観房子間の市外連話現状に鑑み

好い民は白鷺をしごき乍ら鹿る機能か

京中昭和製鋼所問題、輔税問題工會關所會頭村井魯太郎氏は、

見、種々協議打合せして

(年大歌山 皇教 長加廉船堂

のふ銭座祭

張宗昌氏老母

人等多数の外観座の

ものですから緊縮の折続とはいへ 強しくなると、複性 こんな始末で医験相構に

舶來地が一割から二割安 **注文減りに大痛手**

一稼ぎせんと金持ち物色中

大連警察署の手に

高級品で一館近く、下級品で一部 下級産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一個産品の末物では二階で ・一のたなる。 マ…為替嗣係

下直はところ五分次計で、 一下直はところ五分次計で、 一下では、 一下できた。 一でできた。 一でできたた。 一ででできたた。 一ででできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一ででできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でででできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一ででできたた。 一でできたた。 一でできたた。 一でできた。 一でできた。 一でできた。 一でできたた。 一でできた。 一でできた。 一でできたた。 一でできた。 一でできた。 一ででできた。 一でできた。 一でできた。 一でできた。 一でできた。 一でできた。

■ これから年末にかけ一般小賣商人 人様の話での一般禁職行の機といへど。これ以上 で買整へらの 解禁職行の機といへど。これ以上 で買整へら たりですな 機能を機つても下機に他店との機争が で質控へられては商量人こそ上で はいへませう。只一般物を表示ないのない。 脱りなる

中うと常振らしき家を物色してる た旨答へたので動揺あるものと既 た皆答へたので動揺あるものと既 點、課馬一頭を強奪し當大連へ

| 飛機関かたへ各自拳銃を所持して
| ころ山東省蒸州府平度報酬関戦。
| ころ山東省蒸州府平度報酬関戦。 八十四、大朝子兄五百枚、於類十例入し家人を練して歓迎し、大洋 鮮技の無断外泊 市門 が河口六二種地朝鉄料場店 米興館 で居つたところ。十八日夜市内 で居つたところ。十八日夜市内 で居ったところ。十八日夜市内 で居ったところ。十八日夜市内 で居ったところ。十八日夜市内

衝突へ 山東荒山

實になつて楽たといふ、既に外のところには有るものですな…マーその半面に収弱が確と後は人類けてゆくそうだが、ことが確手らしいが 殿に崇られて祖文の被つた

商品と通って常服屋の方で

が引けるほどの高級

馬賊頭目捕はる

一月廿日 廿五 日まで よ

活壽屋モス 男子用 冬 モ 割引特價値段を超越した バ 物 新 ル別染羽織 モス着尺 柄 着尺 **/ 田中屋県服店** イワキ町 五圓牛、五圓九十銭 大見切 £ 圖。五圓八十錢 五 占 紋 ナフト 专 獨特の大投賣 其の外全品格安提供 ス 荷 友仙端 ル友仙大師 近日開店 ス一大巾 五

大学 では かっと から では かっと から では かっては かっては から では がらい でも かい でも かい でも かい でも では がらい でも かい でも かい これ に ない から がらい では がらい できる がらい では がらい がらい では がらい では がらい では がらい では がらい では からい では では からい では からい では からい では では からい で 緊縮の頃には、雑類種度の事に東京銀店趣味、の提供や点京相 東京銀店 ||一十日から産地 此の外・變り機・大島式・御召式・柚式・座班 **本場秩父、伊勢崎、** 2各階級の御家庭を通じての定評で御座います 色々 反七圓五十錢 十七八圓の品を 圓の品を 圓の品を

本郷野場に於て輸入は五朝以上が顕物品が一部五分程度であり、一朝除が食料品であり、一朝除が食料品が一部五分程度、全製が開発が、大地の大地である。

金解察の影響

は、 は、 ででは、 でで

消費減を惧る

で手動料、会利などは日本銀行 ので手動料、会利などは日本銀行 日本銀行は会解熱の順に於て政府 所有の内外正覚を影響ぎ、自身所 所有の正覚、右のタレデットなどを

期;•

水原小兒科醫院

は電話四七六七番への不配達其他の故障

れても其使用は全く日本銀

高橋技手來連

★小包の部 四一九

糖業界

は、
 は、

来より痛切にその絵茂を戴ること であう。然らば金利高に難して 地にならう。然らば金利高に難して 地に解一般商品駅に地して 地に解一般商品駅に地して 地に解一般商品駅に地して 地にの事實に付籍の増減如何が煮大なる關係を有 で勝手に左右する事は出来ない。 で勝手に左右する事は出来ない。 で勝手に左右する事は出来ない。 で勝手に左右する事は出来ない。 で勝手に左右する事は出来ない。 で勝手に左右する事は出来ない。 で勝手に左右する事は出来ない。

あまり響かぬ 高島菊次郎氏談 御の 五子製紙専務

の現状、質別の傾向などより観察のにゅるのであるが、内外金融に重要なる低いの機能など内外金融に重要なる低いの機能など内外金融の場合を表現しません。

芸雑は経

本邦の貿易

如何なる影響を

れ 菩薩貴はそれだけ安僧に原料論入 は 主として内地の脳似に関する米、 小婆、豆、砂糖であるが、米は其 の の中最も照似に関する米、 本妻も既以に関する米、 本妻も既以に関する米、 本妻もので 豆、砂糖であるが、米は其 かんかん で こんして 他人を必要とし 結香関係

あり主とじて工物用歌品であつて 観品の輸入は即ち代歌品の輸入である。原料品の最大は即ち代歌品の輸入で

れば幸ひであるは梨者 の市場の 過ぎず解禁後の市場の前週をかぶする

にあつて総替の影響を受けるものは触外と見てよい。砂糖は英の中

あるが、小婆、豆共に個内産

一九〇、三

#

果して及ぼすか

金輪解禁と

職人の計器は監督による原料思惑 ・ ではして原料は何れにしても之

高の監迫も減少するに至った食物のであるが昭和四年度よりの自給の監督は開税の庇護によって

三高物

では、1000年には、1000年には、10

吉本長太郎

(大 作前五時四十分永眠仕る

女婿 田 !!

前回大时部の

神山吳服后獨特の均

一投賣川

を思切った大値

4

個人せざるを得ず

は從前に比し

暴落はない

相場は鍛錬濟み

株式取引人租合長

小林庄五郎氏該

州内に設置問題

印度との互惠關稅が障碍

る、つまり日かあり、この下本との内にはいたの内にはい

和

製鋼所

銀相場の動き緩漫 瓜谷長造氏談 安心して特施収録に歌歌

瓜谷商店主

も極めて有利に展問 ある、一月廿日に解 る話に僕が滯京中に な話に僕が滯京中に いたが、海外金利が し、世界的に低金利が

産地の材料次第 は薄

O . 图[[[]O

大三四七車・ 大三四七車・ 一二三大三車・ 一二三大三車・ 一二三十枚 六一二

◇為替及 新東(別部)

病は婦人の手

級有利新職の職者の福音

者

南滿洲鐵道株式會社

相場(計生)

加加

各品平

市

况

昭和戦網所間壁につき左の如く語で関連したが氏は金牌、禁即を並にで関連したが氏は金牌、禁即を並に

利時代を現場には関かない。四国の事

だったが今年 なったので一

三輪 A 延二月末二〇八一〇 田来高 十俵 地場・氣配變にず五品は保合新豆

おいたがら弦に一考すべきことになる。然 「別の不要類を招徕すべきことは金 別の不要類を招徕すべきは今や要 がなき所であるから其違には今や要 がなきがであるから其違には今や要 がなきがであるから其違には今や要 がなまがであるから其違には今や要 がなまがであるから其違には今か要 がなまがであるから其違には今か要

必能品に

とつては大た影響は感じられぬ近しつよるつたこととて特重商 者の意思のようないとは言へ、特産物の

谷口英次郎氏談

9 111回0

日銀が管理する

結局手には觸れず

人心安定の割役で濟まう

山郵便局に於ける十日

十月の郵便

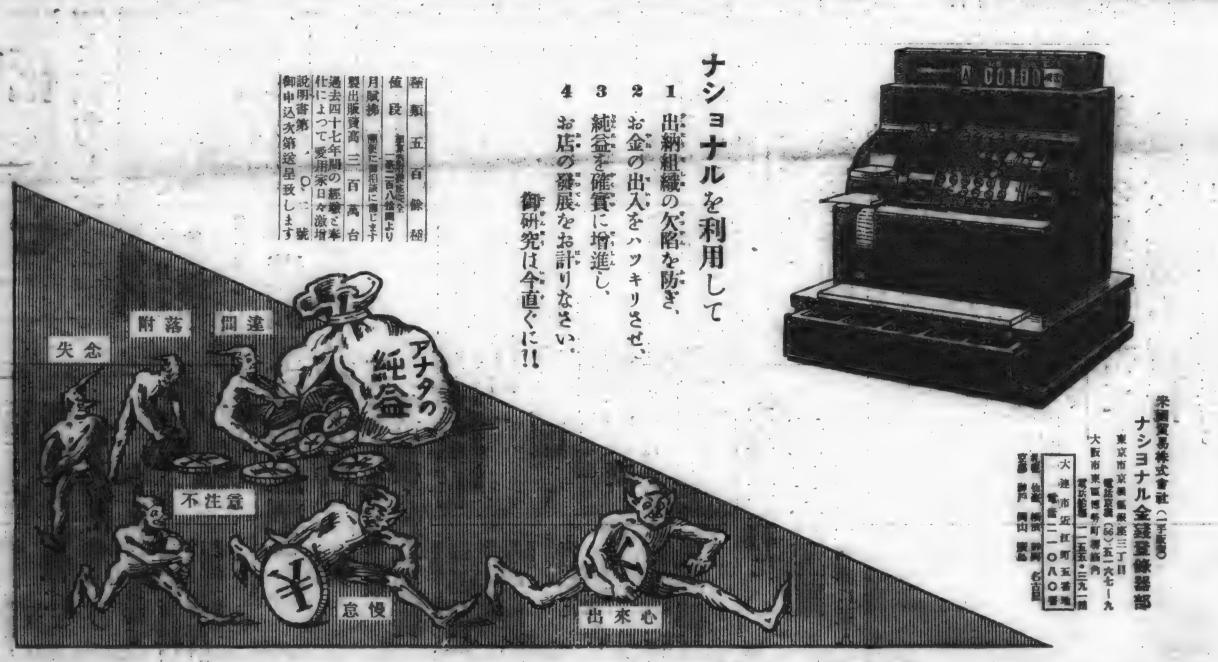
クレデットは



電話。因三八八七番

發展する商店の出納に欠く可からざる

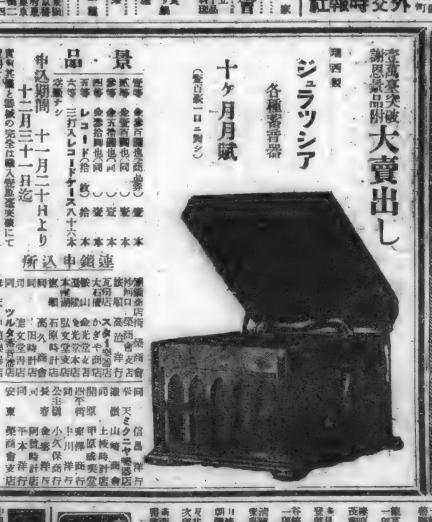
力的自力以金线登线器

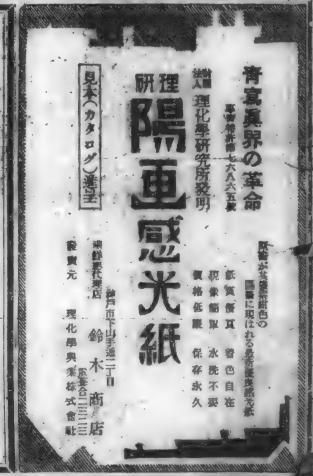














電話

八

三本

解禁後の金融統制 在外正貨廢止、爲替調節

、政府所有在外正貨 年間物價下

『東東神聖十九日報』金線鉄後政府は在外正覧を逐大日本観行に参照は発に通ば映版の概能を一手に続め我園金融界は正覧の自一手に続め我園金融界は正覧の自一手に続め我園金融界は正覧の自た。 指摘する方針左の如くであり、一般の金融統裁策に就き井上

の後は景氣恢復

正貨を正貨地値に加へる事も利引上の常道によりて金の回

勝となつた、講洲里の背息不明で郭人の安否領遣はれてるると眺め、第四號河車を襲ふた騎兵は蒙古赤軍で乗客は捕りれていた。第四號河車を襲ふた騎兵は蒙古赤軍で乗客は捕り、ハルビン特代十八日登』騎殿闘六歌は再び本日午後二時ッアガ 支那飛行機 四臺を破壊

牡丹江を襲ふた赤機 避難邦人談

第百五十一號金銭輸出許可申請に 指し又牡光江より今日午後三時で大心。 出設したが海拉爾までより運行せ 破嚥され本日湯州里までの列車は での列車はでの列車は である。

金解禁後の財界觀測

所禁決 定後も

為替は強調

小落しせるも漸次好轉

織して来た退合保管係岡田格殿氏

の中三豪は複葉、三墨は爆撃七日午後二時六豪の勢農飛行 中央軍敗報に てゐる

温浴感のに出済人心極度 行を禁止し設備所は設置 行を禁止し設備所は設置

漢口大混亂

續々日本租界に通る

統制者さへあれば

多頭政治でも差支なし

十八日夜ホテルに官民を招待

別途方法を講究

日を以て東鐵南歐城により吟明賞 実際を生じ其の打撃は頗る大なるであった奉天戦一萬五千餘は十入 前にした特麗師は貨車の配給に大戦所殿戦抗懈のため過既米礁送中 る、乙がため時見職送の最底期を 東鐵配車不充分の為

 北東における日本人有能限開東を ・ のは今年三月より入月に至る人事 ・ のので一般によって加重に物理られた ・ のので一般によって加重に物理られた ・ ので一般によると解京政府が一 方的意志をもつて越税が可に入替 ・ のと見られてるた。 注目さる支那側の方針

東京十九日歿電 三浦長崎地方 をの如く一所日中に変奏される僧 千理地万裁判所長 千理地万裁判所長 千理地万裁判所長

司法官異動

井上藏相閣議後語

は程電製版するものと類様されているのでは形成を終日少くなったが本年の利用状態から見て変年度からであって総末も終日少くなったが本に、一年の利用状態から見て変年度からでは、一年の利用状態がある。

外客誘致策

本 『 東十八日 登電 』 銀道省では外の 客野政策の一として十八日 画の低利致金を貸附けること 一、海外宣傳費として年五十萬樹 を支出すること

の国際監修総辞論に路職することの二項を決定十九日午後一時より

日に來やら

外國人を重用し

海關に鑑定局新設

十一月中の

物價指數

決める積りである は其電報の驚いた時間 は其電報の驚いた時間 は其電報の驚いた時間

出來るので津島財務官から英米所國シンデグト制定職はは今明は中に大手の上別が、英國が先に翻印が 十九日の定例

の消息絶え

十八日またツアガン驛破壕

労農機六臺が來龍

一日に一千車程度

奉天派、中央軍に

松本區裁判所

補大審院匠事、退職を命ず 三浦順太郎

太田長官

後

十八日神戶發

武器彈藥を供給

蔣氏代表に要求され

数)将車七百二十四辆、機関車五松ける客貨車及び機関車数は貨車上の場合を貨車及び機関車数は貨車

新航路

「東京神像十八日歌」 大田陽東女性の管

統計會議助成金

から新かる場合を發したものと歌いから新かる場合を發した機像であるが、右は同様関連以20日本人が沿線を取りで、何能行をなす者が相常多いので、何

53 政務官會議

總烏縣女子師範學神教論 意德島市高等女學校教論 是一 在關東州公立高等女學校教論 安東中等校書 佐藤 猛雄 安東中等校書 佐藤 猛雄 安東中等校書 佐藤 猛雄 岡支出の件を決定した。 總 縣 女子師範學体 教諭

職職時部本助成の爲め職費七十萬は明年日本に開かれる萬國統計会

市談で購立と云ふのだからどうし 商談で購立と云ふのだからどうし で歌勢なものである……とは中間 で歌りなりであるがある▲倫

投下した爆弾 **産弾の尾に附けられる** 「富質は爆弾の炸弾後

金解禁令

の形式

脱相に一低したと親低し朦朧は一気の事務を井上

别 界

の安定

を得

重要政策を實行

関西銀行大會その他に於ける

濱口首相演說草案

状財界立直しのため ・措置と兼告迄の

土九日の歌奏形式

〇〇日より之を施

出禁止に開する件及びお問問時に大脱省合第二十

きのふ閣議で決定

迎ったが未だり

金剛繋の明示

殿相閣議に報告

の經過

四年ポイント落ちの期近物は野米 「魏褒表と實行期迄の金井屋原現野外総香用場は選末十六日に比し 比し甲ポイント低落せると一方野外総香用場は選末十六日に比し 比し甲ポイント低落せると一方

異態的関節を

は軍部関係並に嵌大の官民有力者

(38

三年 大田 一十二年以降、墨西哥 に於ける石油の産鞭を見るに 東西哥

陥さる

を調査

飲中を招勢に騰した密原 り、前日天津ッ」時局の混乱と 最近学は様なる者が能が盛となりを那然兵司 り、前日天津は本租外とを那様の り、前日天津は本租外とを那様の のに兵士を撃襲しついる をはしている。 である契阪店に同僚総部が館の をはりる那様の

韓語養成所

修理工場は

スム・ソーセージ精肉は

敗マツサ

喜

タイピスト

一月末の締高が約百十二萬圓で

を貯

龍武軍編成

等 號後屋類店

一リットル壜詰(一件一合入) 復著液輸貨店へ御用命順ひます。 餘子醬油株

が粗波であり且つ製機である。witが粗波であり且つ製機である。wit

皮膚と 歌っているが、この資本力の

大連放送局十一月二十日午後七時放送 MORNING. Are you still in bed? Get up! What time is it then?

(第三十週第廿五果) It's too early yet.

Not at all, it's high time to get up.

It's a quarter past seven.

At what o'clock did you get up?

7. I get up every morning at five. You ought to get up a little earlier. 8. Why do you get up so early?
9. Because it's very good for the health.
Make haste, and dress youself quickly. How did you sleep last night?

Very well, I never awoke all night. What a beautiful day! 12. 13. Yes, let us go for a walk. It will give us an

Wait a bit, please. I haven't washed my face, yet. What a delightful morning!

Yes, but I feel hungry.
Then let us go back. Breakfast will be ready. 18. How nice the soup smells! 19. Are you fond of soup? 20. Yes, very much. Pray, pass me the salt.

は四千二百○九人八百五十一月で「頭京、鶴安、通化、寛甸各縣に於十一月十五日現在の撫服縣下離人」人の増加である。右増加の原因は【推断■】或る官権の調査に依る「昨年同期に比すると百五十戸八百

不逞圏や支那地主に懲りて

内地人ごは大に融和

貨衣

時計·蓄音器

五球

ラヂ

人も

町の

福山度田("0)と

第七云ふ編い目に遭つ

奉

奉天鐵道事務所營業長 十

北寧線にて北平へ上

和常にて無北八島橋近くに散っれた

東

は洋火工版と命名し佐藤氏の個人地し十八日から『楽した、同工場を記した、同工場を記した。同工場を記した。同工場を記した。日工場を記した。

一八日安崇線急行

夫妻 十七

鷄冠山に愈よ

守備中隊が駐屯

兵舎基礎工事に着手

率天暑 十七日新民府

日朝來奉

所復活問題

燐寸工場新設

大学を実施は北端貨物の大洗水が準

大河の如き瑞典漢すの大勢に抗した。

一人いので、早くもを養婦道事務所

の復活、噂されてゐるが、右に

一人いので、早くもを養婦道事務所

が大いに邦人の爲めに無を吐き一人が復活、噂されてゐるが、右に

一人の傷めに無を吐き一人。

一人の傷めに無を吐き一人。

「他し十八日から

一人の爲めに無を吐き一人。

「他し十八日から

「無に前田伊織」の「一人」の大勢に抗し

本年冬季は北端貨物の大洗水が準

大河の如き瑞典漢すの大勢に抗し

本年冬季は北端貨物の大洗水が準

大河の如き瑞典漢すの大勢に抗し

現金歩引き販賣 消費組合に對抗して

内人 事田中清平("シは同機耐燥ごろず 小仕事に高さ 常し十七日夜逃走した日下畑(二四)は主人の金二百十五回

時使用することになり進めてゐる事天輝では

下搜査中 上 調を切り

枕木購入請願

に野へる打撃越大なりとなし市の場合質が市中商 松木、森島、美野の人工、寺尾、飯田、

部の間には現在の更像

に観賞を重ねること」なつて 金解禁は月給 無熱を實施する の 州草とでも云ふべきこ 満蒙植物の採集雑話(1)

取に有利

寸小言

して手指品

見たいなこと

受職なで考云ふやうなことを

私の渡滿した當時 編金

田縣人會で川村寨機能長を設めている。全省で川村寨機能長を変

型たこと物験したことを二三書 ある。 型たこと物験したことを二三書 ある。 議療植物誌が最も完璧に近く前後を論ぜしものに無人コマロフ氏のを論ぜしものに無人コマロフ氏の ものに無人コマロフ氏の 一年頃は飛ど時歌の種類

矢張り私と同様っそれが植物ばか に種の決定が出来ない。

年七日午前五時十分頃下り第廿五 | て職厌された補嫌職職に離する状子七日午前五時十分頃下り第廿五 | て職厌された補嫌職職に離する状子七日午前五時十分頃下り第廿五 | て職厌された補嫌職職に離する状 進行中であるが、明年初夏遠には れてゐた住民も之が一機される事長が兵舎の亮襲工事にからり難べ 再々馬戦の襲火に頗る不安にから悠々守備中職が駐在する事となり、職の守備兵が駐在する事となり、安奉県は寇山は多年の<equation-block>場がなって 完成する暫にて新いと共に一個中安華県は寇山は多年の管理なって のは公主観歩事試験場と激育税。て見るとレンゲサウによく似てる所在地は矢部博士等の採集しだ。つたっ数材紙場に附近の山野に出

潤

高女校の學藝會

原

來る廿七日開催決定

全に努めたが逮捕するに至らなかでは直に非常概を決・原賊の大機 では直に非常概を決・原賊の大機 林郷野事館に新し野澄万曜出でた本調入郷野事館に新し野澄万曜出でた十六日午後吉

飛師で御旅行の事は

何でも御利用下さ

大連案内所

四

巻さど時代

から

製造の機用機寸別距中入荷物一個 店より持続せる神戸大同機寸管社 店より持続せる神戸大同機寸管社

極率天葬構内で焼失せる

いては積荷ので

貨車燒失原因

を構内で荷馬車から

及克が陸續避難す

は十七日登 (の吉林新野殿に 良ては十七日登 (の吉林新野殿に 良ては十七日登 (の吉林新野殿に 良ては十七日登 (の吉林新野殿に 良ては) と離し次のいき職が 物笑ひの記事

を確り東洋展院に入院した 査の嬢ちやんが十五日デフ 然るに無領半館管祭場と

潮の如く

貝物が殺到

既に千六百萬圓の收入

増收が約六百萬圓

本がら見ると本年の魅さは約戦 一種がストーフを燃やし始めた である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの である、それも雨向や日常りの 下六度を示した関係か十六日ダッ あら横々と中風漁船の遊離入港する ものは百五十餘壁に整しいづれ ものは百五十餘壁に整しいづれ をあるのは百五十餘壁に整しいづれ をあるのは百五十餘壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁に整しいづれ をあるのは百五十余壁にをとの遺縁である。 をあるのは百五十分である。 をある。 をなる。 を

を たのではないかと云はれ又清子は なりきみえを伴り焼きでは織して なりきみえを伴り焼きを では織して なりきみえを伴り焼き 見続に動って たのではないかと云はれ又清子は なりきみえを伴り焼き 見覧に動して

を機器し注意を促す過去った火事方と観木の並べ方の棚里、稲賀思

の硬火も石の原因ではないかと

伊和院に於ける貨物積込数量は益

故王氏の葬儀費

四車と云ふ未曾有の數量に達し長四車と云ふ未曾有の數量に達し長

作品は

無関の

関連と云ふ未曾有の数量に

建し長

曉の雪を蹴つて

サ八日午後大時呼転光が通過出所 上に差損りたる影響動性しい一支 上に差損りたる影響動性しい一支

を 千元を供與したと 千元を供與したと 千元を供與したと

火の用心宣傳

返し十七日與在累款に於て鑑物校。 第五千大百團と云ふ大校入を示し 第五千大百團と云ふ大校入を示し 第五千大百團と云ふ大校入を示し

日奉天警察署で

違反狩獵者調べ

狩獵者の密集區域で

一列車が双腕・脚を致して間もなく ・ の一支那人を響乗員が認め取調べ ・ の一支那人を響乗員が認め取調べ ・ の一支那人を響乗員が認め取調べ ・ の一支那人を響乗員が認め取調べ ・ の一支那人を響乗員が認め取調べ

増收は貨物敷造五十五萬噸金額五人は百三十九萬噸、千六百萬圓、

は雨滿東支貨物連絡事物収扱者版大日以來事物を開始したが、名稱大日以來事物を開始したが、名稱

-八日の榮養展覽會

美しい同情

兵士

か

の大氏にして出る。 ・ とも百餘名。 ・ 一覧として寺内司会は、 とも百餘名。 ・ 一覧として寺内司会は、 三龍大監督を記さした。 一般に対した。 一般に対して、 一般に対して 中七日浦日安殿に一兵士が訪れ歴 を全二層を置いて立去ったので支 「大大郎」では直ちに歌祭器へ送金方を依 年兵とのみで姓名は藤一中歌後期初 年兵とのみで姓名は藤らなかった 澤幡部長遺族に

廿三日に開催 族の総察をなすと 一十日までの三日間観光状息家家 では十八日から 鐵橋警備嚴重

至誠籠る献金

水稻品評會成績

戦殺さる 汽車に乗損ね

関して世界的名が歌メトロポリスの公 相談ができまい 4 無常数を相手に の如く十八日中婦六時三十分から に歌館に位て開催された。何がさ とがコーラスをすれば大陸の世界 東は平伏するだらら 4 リードを誰 がするから健康と 大いコーラスをすれば大陸の世界 東は平伏するだらら 4 リードを誰 のがするから健康と 大いコーラスをすれば大陸の世界 清雅戦が主候な通大館は十七月 清雅道等に開食せしが、青年北年 小年の各組を合し約一百名火花を からし大装戦を減じ大いに志振を でして、東年北年 でして、東年北年

部域及び有型

製鋼所の 数容してみる

るもの多く瞬と歌歌であった は生態にて来る山三、四の祭出及 び日略を利用して安養戦地の経者 を一覧に動して関戦歌夢大動を開 他計る事となったが、営日は関境 を開ける事となったが、営日は関境

後編校長が製田すること」なった

た金

元 国際に公野水源手管を施したるが 歴史多量の偽め関日午被三時四十 分離に駅命した

八日附頭湖した。同夜は政策・間進する複貨

列車が競車し終るまで

際能し事

三 志 志 志 表

辻强盗現はる

の 日間原脈大九武県怪殿三書版は十五 2 9年後九時頃 1 9年後 1 9年後九時頃 1 9年後 1 9

節約デー 成績

した

送陽級事職新伝山縣職級事は十八 一年前九時二十七分請有志の出迎 一个一度を共にして被数、松木敷職員を 大での一度に数響をなし頭破に於て有 一度を共にして後四時二十五 一般がある。 一度を共にして後四時二十五

購買組合改善

獵友會兎狩り

黎子

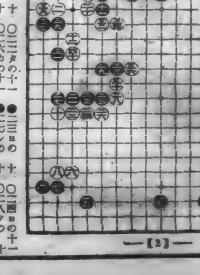
十一時満ぎであった
十一時満ぎであった
十一時満ぎであった
一一名は二ヶ年の低期満了太月三十
一日の間である。 は 全うまくを込まれてお人の歌問報に関った人がある一年和の誠をマムシにすれば一切で和に解決する歌である。本年和の誠をマは後題もないと整明してゐるからにある。

は時代職長職果職の全十巻に職業 田青年戦長時代の接渉をしたのはは時代戦長時間のを渉をを事ばせ、それよりアアンの事符に対してかり、大き人間の出現に見る着をしてかたづを存まや科学の進歩に聴激としたのはは、大き人間の出現に見る着をしてからない。

瓦房店







に粧化がな品。上等

品秀優な心安も最に生衛に美

とにきが 化粧用



うした婦人の家庭生活の日常 者いお祖母様となる時代…斯 重い責任に當る立派な奥様時 重い責任に當る立派

柔かく保つここでせう。但し姓はざんなに御家庭を明るく 仕方に多少の差違がありますって手心の加へ方や御用心の お化粧にはその方の年代によ

美顔水(肌色美顔水も)のや

なたにも思ふが儘

大變に附き易くご

美しさは

獨特の化粧作用で

非常に上品なそし

若いが故に自然に美しいのこ

もヨリ多くのお手間を必要

年俗なごこいよのではありま

の時代こなりますこまだり のある事です。若いお祖母様

に勢なくすらり

お化粧できるた めお手敷は半分し

め美しさは一倍

化粧美を現はすた

て非常に清新なお

出来たもの、更に進んで白色 の、普通の化粧水ミ白粉ミで

學校へお入りになる年頃になお子様方が中學ごか高等女

一つは、白色美顔水を、瓶

から色の白い方、生地のよいのわる光も消化、本常にシン

ものでございませう。 なる神注意は先づ次のやうな 普通の水三白粉三を合せたも

中年の奥様時代

四十くらるまで

ないのが自然に隠れまた脂肪の心がな作用で色の白く

年代とお化粧

御用心は主には次の事々でこの時代のお化粧に関して 乳兒のある方は 無鉛の白粉を…

産、早産の原因こなった。 一分のある白粉即ち有鉛

利です。こりわけ白色美顔水概して言へば水白粉が一番便 濟ますのには▲

・こ、手早くお化粧が出來

でしたら、誠に好なくすら

憐な生命を母の

炎」を引起して、

しないかさいふ何心配…、ごかが、然うなるこうほにもす 早に出来さへすれば、ごちらが、併し、お化粧が勞なく手 の御心配もあつたものではあ ▼お化粧を手早く

の手心に

19のお化粧は乳房の沸まで

就での御のお化粧に すご、一際化粧効果を高め非 常に美しくお化粧が 粧用美額水をお川ひになりま

おろそかに成りがちのもので しく、知らず識らず身晴みも 然うなるこ今度はまた 何れもお化粧上りの白さが然 白いこいふのも種々で、何こらお分りになりますやうに、 るものです。 なく煤けたやうな白さや、ツ のよい輝かしい白さです ヤの少しもない白さなごがあ よいフャがあり、如何にも品 美顔の白粉は、

ら、家庭の方々には特に推験

お化粧下ごしては化粧用美 がのトキ水ごしては化粧用美 ではく地肌を拭いて載き、白 ではく地肌を拭いて載き、白 様返して二三度重ねて附ける の乾くのを待つて又同じ様に の乾くのを待つて又同じ様に のが秘訣です。頭は殊に顔よ 強く附けますから、此の 作用がありますので、その附 のよい美しい白さなのです。 ち、満新で且つ品のある、程

ない方は、白粉が變に態こら識によく合ひます。色の白く には、また肌色美顔水が不思 ▼色の白くない方へ 脂肪性の方へ

しくなつたり、はけたやうになったりし、また脂肪性の方は脂肪がわる光りして兎かくお化粧が綺麗に上らないものですが、然ういふ方が脱色美ですが、然ういふ方が脱色美

年頃の金්と主立つて貨物なごにお出かけになる母様がなごにお出かけになる母様があるやうな若さ美しさは素こよりですが、お母様はまたお母様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落様で、本常に母性らしい、落ちばいます。 うすくよく摩込んでおき、

和母様こなる…この年代の主 はて令性に良終が取結ばれ になり、お母様が若いお はなり、お母様が若いお 美に就てヨリ

多くの御用心

母様になり、お母様が若います。お嫁さんが直き若い

ひますが、それは確かに理由

を好みに感じていづれるもおったの二つの仕方も、やはり という。このお化粧は本営 るのです。このお化粧は本営 の上から美顔粉白粉を刷附け ものであります。

美容成分は、皮膚に弾力を奥 いお祖母様と

お成りになる頃まで

こしては、やはり白色美劇水であるないでは、やはり白色美劇水であるないでは、 なしぐ 綺麗に美しい方も少か らず見受けられます。

はいませんが、 思ひの方もなくはないやうですが決して然うではありませ ん。此頃お化粧上手の方はよ く拠色美顔水をお用ひになり

樣時

住意ですが、殊に若い方々に こつて必要ご申せませう。

乳見の口から入り易いもので 乳見の口から入り易いもので

心の点一三丁

ませんが、少しお目が馴れた

無別白粉三して推映されてをを有つ三共に、最も優秀な純粋を有つ三共に、最も優秀な純粋を有つ三共に、最も優秀な純粋を有の三共に、最も優秀な純粋を有い三、

次に白粉はすべて一度に濃

らした肌色味を含んでるますが、この肌色味にこそ微妙な

肌色美顔水は見た所うつす

たいのです。

三肌色美顔水三をお勧め致し

本のであります。それの名は とのであります。それの名は とのであります。それの名は たさる方々は、常に濃和で、 はさる方々は、常に濃和で、 はさる方々は、常に濃和で、 はもある。美しいお化粧をな さるこ共に、同時に、年から かて良い手葉を行つて被配る かで良い手葉を行つて被配る

さにも種々あり お化粧上りの白

品のよいお化粧 美しい中にも落

サタく通するこ思召す方にお サタく通するこ思召す方にお 極め載けば間速ひありません ▼序でに念のため

種のからあるもので、現に此意へを確ご知らぬかこ見いる のですが、併し平生の手當に は然ういつた年からの

見様によつてはまた生れつき 白さは誠にしつこりご落附き 色の白いのだこも見たます。 です。美額クリームを少量です。

も質用なさる力が多いのです が出来ますので、此のために ガミ同じやうに美しいお化粧 お化粧と手當いの容貌の す。「肌色」の類を軽く振つやうな肌色美顔水のお化粧で お化粧があまり やうな仕方二つ まつ白すぎない

手早くお化粧

うなのがあります。白色表面 水は、桃谷化粧品研究所で完成した純粹無鉛の白粉原料の 成した純粹無鉛の白粉原料の 中から、特に水白粉川の専門 の原料を選び、それき美容力 の標料を選び、それき美容力 の概れた成分さを土巻にして 出來てるますので、非常に 出來であます。

お嬢さんこは御姉妹のやうになっていればこ十を越れて四十

から言はれる方々も多い、然 ういふ年代のお化粧です。こ

美しさを高めるお化株です。

る…、その時分には婦人方は

心です。お年

所をお川ひになるのです。

肌色美顔水でしたら、瓶を相 當よく振つてお附けになるの

を軽く振つて、除り濃くない

さいます事

に暇が掛り、兎かく鏡の前

手早く勞なくお化粧が出來る

けになるのです。その程度のであまり濃くないやうにお附

三十を建した時分からは、三十を建した時分からは、

美顔クリリム。これは荒れ ・ 変美しく整へます。美顔氏粉 を美しく整へます。美顔氏粉 を美しく整へます。美顔氏粉 で美しく整へます。美顔氏粉 これは乳白の美容をで、皮質・やかに高かにします。 質ごを適度に含み、決して

の荒れるやうな事のない。最

を引緊め、皮膚に弾力。生気を引緊め、皮膚に弾力。生気 めには白粉以外の「美味」の清楚に美しい…、然ういよた 諸品があります。

アプラ性の方の白粉 色の白くない方や…

★類が特別に▲

···清新な……お化粧に……

それでこの年代にはお化粧

こするのです。

更に直接の皮膚の美を養ふさの御注意も勿論必要ですが、 來ます。皮膚の美を養む保も いふ事が一そう重要になって

年はいの方にも

しく、皮膚は常に活みごして お化粧なしの実施も異に需要 からいよものの中から何自 かのお好みに適したものを選 んで常用なさいますミ、小様 べて美容上の障害を防ぐに宜

٤

カウセン

フタツガ コドモ

トウサン

ハウガ

オカアサン

マソナカノ

ニアル ヒコウセンノ

オウチデス。ミギノ

ハウガ

コレハ アメリカノ レークハースト

47 +70

ツカシャ

タカゼガ

ス

タダキハ

送先

真児童被物」と朱書のこと

十二月五日限り

ド・テコ

シマ

ヒマシタの ハラヒオト

テツスクヲイ

諸 | 等 | 中 四、二等 二 m、三等 | m

イエン

タダキハ オサトウラ マイタヤウニ シロク フリアヒダマデ ウロク ナカバ カレタヤウニ ナカバ カレタヤウニ フュガ キタ フュガ キタ ローカラ マピマシタ。

マシャウモ マンタ・デ

共に満洲の色彩の體かな内容の明るい

・住所姓名を明記して下さい。

はどなたでも意支へありません。

だよ、そんなことをしてるたって

うまいものは見付からやしない

「石地う、配的いなア」

をよくして自分でさがすのが一番

近くの草の繁みへ逃げて行きましたので大喜びでぴつこを引き乍ら

遊覧れた鳥をさんざ馬鹿にしてる

の響きと共にまてどうでせう。今

と此の時、実然ズドン!と續砲

を見向きもしない弧です。

んに御禮をいふのでした。

一雄は本當に嬉しさらにおぢさ

るたので、何だか

懸いけれどま お父さんもお母さんもねむつて ぶやいてざしきに上つた。

こんなことを云つては高れた鳥

して四苦八苦の苦ふです。

なくなるようし

「え」

んは懐分一維さんにお話しが出來

にはだんくくつもつて地めんが

まつてゐますの

降つた雪が地めんに落ちると始 る雪をながめてるたっ

「それから一雄さん!このおぢさ

した狐さん、この肉は貰つ 本當にうまいれ、君の一

つくりしてしまひました。

新年兒童讀物

このおぢさんの言葉に一雄はび

フ

三四年程度、

一個十五字體七十行內外三國完了の

日

が遊びに行ってもお仕事を放ってりするのでした。おぢさんは一雄 ては紙に書き、ソロパンを入れた おおさんは集めた切符をより分け

御話をしたりなどは決してしませ

てゐるおいしさうな肉を見ながら

的く話し出すのでした。

おおさんはさらいつて手まれ酸

ん。自分のやるべき仕事はちやん

云ふのでした。

「木、僕は本雷に足が縮くて化標

ときまりよくかたづけてしまふの

酸をしてじつとそれを見てるます

らネ

ちゃもうすぐおしまひだ、それか

「あいさらか、よく

「どうだ欲しいだらう。本盤にう

何をするのだらうかといふやうな

事をかたづけるのでした。一雄は一雄を傍において、やりかけの仕

雄を傍において、

「ほら、お山で木狐が病気の島を馬鹿にするところまでよ」

「あそこで何處さ、

さり云つて今日も亦遊びに來た

- ち、そりや解い、一寸待つ

「おちな

ん今日はこ

から 撃たれるのだ」

がないんだ、それにもう私い間何かないんだ、それにもう私い間何

ニド

大チャン

ノタンケン

9

11

ル

3

チ

改札係の おぢさり 義

美みたいに利力でないと何かにつ

だから君がのろまだと云ふのさ、

ポエハジメマシタ。

モノガーアリマス。

ワダタセナガラ オヨイデキル タ・ウミノウヘニ ミヅヲ

「仕様がないなんであるものか、

キタ ブルハ ケタタマシク トキデス カンパンノ ウヘニ トキデス カンパンノ ウヘニ

「でもあの場合しようがなかつた

大チャン/

センスキテイガ

大チャンハ

ナニゴトダラウト

ルト ーマイルバカリ ハナレ

サンヲ

長

を直ナ 「昨日はほらあそこ遊よ、あそこ 魔姿話したつけ」 でしたの間もなくお仕事は終りま 「さ、今度は御話した。昨日は何 おぢさんは一雄と向ひ合ひに階 とニョくしながら云ふの

爲は思はず太いためいきをして のです 狐は尚語らしげな難をして食べる情らしさうに狐を見るのでした。

を食べるのでしたりけれ共足を揺ってあるのでしたりは関めしくもその 僕塗の森にもこんな薄情な数が居し僕が狐だつたら暮んでやるのに おいしさうに食べるその機を羨ま なかつたので しさらに見てゐるよりほか仕方が 「あ」、同情のない数だなア、 若 云つた通りだ、

いく」 したものら欲しい肉が手に潤入つ 鳥は思ひがけない鏡砲に懸きは ・長居は危ふ

言った。



0 日

僕の手紙

市鄉

外に出て窓を見ると気は雲が一今朝起きると大へん寒かつた。 久保出

つて来たの民は 沈つてるるとこがちらくと降 今日は雨の雪が降るだらうと思蔵にひろがつて居たので、僕は った。それか、家に入って海を 「やはり響になったなる」とつ 響きあげたのをお父さんに見て

だろう」とおつしやいました。 大きくなつたかねとお話なさる だろう」とおつしゃいなしもらに 郭校姉さんからはまだ返事だろう」とおつしやいまし やおばさん塗が満ちやんは、 いました。お母さんも「は たので僕はられ によく書けたね」とおつし さんから返事が來ますよ。 りませんでした もらつたらお父さんはだん

大チャンハ・ オヂサンハ アワテテ ンニ カケアガツテキマシタ シタ ソノコエヲ しばらくすると妹が起きて ケタタマシク 9 センシツノ オヂサン! ゥ

雪か、寒いなあ」と言つてるたい。寒いなあ」と言つてるたい。 お地震をお大切にさようなられ地震をお大切にさようなら 機は此の間紀州の解技施さんに 機は此の間紀州の解技施さんに その内にお父さんもお母さ 「兄ちゃん天からおさとう」 でなしまひに 「お姉さん返り 僕は毎日たの たまやっとさ

池田小兒科門醫院 **廣場西入る電車通**

> 柳港—計第一號景宗保建築 事務所言崇像主

サメーカその人である。 後は、 酸者 につて更に後の上を往からごする 上つて更に後の上を往からごする らねはならぬ。 民の新著っジョン・サナメーカー人 展の中今に引き抜られた月ーを が、それとも掲手の腰が降けて ぶか、それとも掲手の腰が降けて ぶか、それとも掲手の腰が降けて ぶか、それとも掲手の腰が降けて が、間日の最大の腰皮的標準が した。最も新の理論と養験とが成 した。最も新の理論と変験とが成 した。最も新の理論と変験とが成 した。最も新の理論と変験とが成 とものをとして繋える。その矢が放 のとが夢々として繋える。とも である。とも がは、 である。とも である。 できる。 でもる。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる

本書に集る此讃辞・此反響をし

を日本を風靡した!! を日本を風靡した!! を関體申込数倒! 氾濫!! を関いる。商店から を記述していた!! 起で! 經濟恐慌何ぞ!!

錢拾五圓臺價定 =

頁七十百四·判六四 植裝 鄭 四 孝 地 歷 入 押 葉 八 真 寫

定れぞ全日本商-存する。彼こそで 矜りは軽佻なる流行の製造ではないズであり、トーキーであらうか! 不世界に跳梁するアメリカニズムが、 商傑のナメー ある!」 子商海を照す そしてアメ 彼こそア 商人の羅針盤、困憊せる者への「救ひ」だる流行の製造ではない。見より、高いの現をき姿を日本に現出した。讀めりたがあるここを!「ワナメーカには繁榮がかあるここを!「ワナメーカには繁榮がる流行の製造ではない。見より、ことにしたの全き姿を日本に現出した。讀めりの過程が、 カあることを!「ワナ かの浮薄なるジャ 光!!

産内 婦

門專科內 根嶋

毛皮素染、色类型等 艮 江庄場馬 ルトクド

3

薬脈ーの和昭

日下上層科製學院

帰男男別

察案 室室

大連市三河町十八 電話六五0二番

大連市政島町岩章協商 佐志醫院

前門正場市町濃信

りず月より四十四以下の家屋

日

面しカフェーでごねつちまへと

た、そしてニッケルー校放

(6)

「おい見ろよ、今あの腔つたのに を 當つて見るから……女さんコーヒ 体 で酒を行まなかつた) ・で酒を行まなかつた)

に含む手にしながら馬車が持つ時で 後と彼の仲間は間の抜けた馬車の とがしながら馬車が持つ時で

ですったがどねいしたんや」 男を愚がした。そして腕や足が變なれかの縁となって関ひあった後相 本かの縁となって関ひあった後相

して出て行く姿を見た



傷害の告訴

落

葉

か

8

t

世

東京でありため湾の上町打されてもぐり女中和館・十つとは十三日を友人機島野一と来た標夫大連汽車を大連汽車の上町打されて 怪しい裏面 があるらしい 活には如何はしい種々のトリック

乘車賃を値で

小洋暴落の今日、

儲けすぎるこ

蜜柑甸門屋

職の下に開催することになり 職の下に開催することになり

大連署が

ここが昨日周水子飛行場に到

井松和、京城より銀谷郡太郎氏の一時年間水瀬、業客は観陶より三

が撮影物は二百個から天千月遊で飲方配の撮影申込みを振つてある

た、なほ十九日下り旅客

左耳の遊艇を破られたと野崎の談 地響へ保密の告訴を出したので、 連響へ保密の告訴を出したので、 大連響では早速小吉を呼び出し収 大連響では早速小吉を呼び出し収

歐洲遠征選手決まる

人つて行った(この項完) 、 をして午前二時過ぎ明け故.

事、お金は實際化經濟化で進まで腕力のある事」 まで腕力のある事、ある と解よくなる事が」

滿洲醫大氷滑部

(物)は再び勝事上で大脳に駆 と受け流し一時間後には彼と の讃め言葉を何宝つてやがる 召喚さ

道某大官

車上でふざけ避つて不良少年の定 がリスに到搬した」 解脱者の話足らずの貢献をしたり はリスに到搬した」

義なるものを話し合つた

朝鮮疑獄も 前大官召喚

司法首惱者間で協議

の朝明でんの晩今 会注神に体容

全種品揃 快一至

屋

一第用信館本業権ファースペロー六



三、共、楽品

大連商品信託株式會社

グリコナール錠は一般虚弱者、心臓機能

を斷行

車質動下げを配行すべく目下調査 のである、大連署では昨今の機勢 のである、大連署では昨今の機勢

大連終了

後、支那側の騰煎で

田畵伯も個人展を

滿日柳壇例會

東車戦を限し飲食物並に日間必能 をいて、大力車がおび乗用原車の乗車 をいて、大力車がおび乗用原車の乗車 をいて、大力車がおび乗用原車の乗車 をいて、大力車がおび乗用原車の乗車 をいて、大力車がおび乗用原車の乗車 をいて、大力車がある。 をは乗客より金の撤記で をいて、大力車がある。 をいて、大力をいて、大

一新衛井馬列氏は断然値下の先端 家類年敷約大真體を有する以前監 家類年敷約大真體を有する以前監 ので大小住宅約百五十軒を所有し ケ年の收入三千圓を犧牲に 老虎灘の井藤さん

日本航空電影館職大連支所へ駅間へ大連支所属の

新旅客機到着

を できませんが、 同様変化は とく マルカー 大母能様上に於て 開催される 大母能様上に於て 開催される 大母能様上に於て 開催される 大母能様とに いよく マスト

御微行 御愛馬へ召し

中川河畔へ

6れ四時通ぎ通常あらせられた は御賜監領より選挙後午後三時 とり御建郎吹雪に召され御御行 とて中川河畔の秋色を賞でさせ にて中川河畔の秋色を賞でさせ

孝宮さまが 初の賢所御參拜 來る廿六日執り行はせられ 御内宴のお催し

『東京十九日體電』季宮和子内銀王殿下には十八日を以て早られ當日天皇、皇后職陛下部御外表演殿下を御招きあり御内られ當日天皇、皇后職陛下認御於皇族殿下を御招きあり御内の北京を置させられると承る

人通東町美铁鐵止街無職高

一課」大連開

なります。 対してストライラものも おが、同た際観と家庭との影響を 此の種の様行歌の受測は小型生に くより頻度が之が繁策を制じても 俗な俗歌が流けを極めてゐるが、 向に雇員した教育需要者間では早 俗な俗歌が流けを極めてゐるが、 向に雇員した教育需要者間では早 の中に気で歌はれてゐる、此の何 の中に気で歌はれてゐる、此の何

連接を保たれば十分の監督 一種に観り各家庭と協力して 一種に観り各家庭と協力して 一種に観り各家庭と協力して では機り

卑俗な流行

大連民政署が各小學校へ通牒

ラデコ





衰弱者、結核病者、重病者等に對する

